

旅の祭典 in 沖縄

開催レポート



ツーリズムEXPOジャパン

2020 10/29 (木)-11/1 (日) 沖縄コンベンションセンター
宜野湾市立多目的運動場ほか



【来場者数】合計 **24,174人** 【出展者数】世界**30**カ国・地域／国内**28**道府県／**285**企業・団体

10月29日 (木)／商談・業界日 **2,197人** 10月31日 (土)／一般日 **9,094人**

10月30日 (金)／商談・業界日 **2,438人** 11月 1日 (日)／一般日 **10,445人**

※来場者数には同時開催イベント (ResorTech Okinawa、島ぜんぶでお〜きな映画上映会、タヒチの島々) を含みます。

■ツーリズムEXPOジャパン 実績

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019 (大阪)
出展者数	世界151カ国・地域 国内47都道府県 1,129企業・団体	世界141カ国・地域 国内47都道府県 1,161企業・団体	世界140カ国・地域 国内47都道府県 1,181企業・団体	世界130カ国・地域 国内47都道府県 1,310企業・団体	世界136カ国・地域 国内47都道府県 1,441企業・団体	世界100カ国・地域 国内47都道府県 1,475企業・団体
来場者数	9/26 (金): 業界・プレス日 41,063人	9/24 (木): 業界・プレス日 5,860人	9/22 (木): 業界・プレス日 7,011人	9/21 (木): 業界・プレス日 8,671人	9/20 (木): 業界・プレス日 25,928人	10/24 (木): 業界・プレス日 19,933人
	9/27 (土): 一般日 61,649人	9/25 (金): 業界・プレス日 40,622人	9/23 (金): 業界・プレス日 42,023人	9/22 (金): 業界・プレス日 42,057人	9/21 (金): 業界・プレス日 40,345人	10/25 (金): 業界・プレス日 28,375人
	9/28 (日): 一般日 54,877人	9/26 (土): 一般日 64,959人	9/24 (土): 一般日 70,012人	9/23 (土): 一般日 74,040人	9/22 (土): 一般日 74,021人	10/26 (土): 一般日 51,173人
	合計 157,589人	9/27 (日): 一般日 62,161人	9/25 (日): 一般日 66,798人	9/24 (日): 一般日 66,809人	9/23 (日): 一般日 67,058人	10/27 (日): 一般日 51,618人
		合計 173,602人	合計 185,844人	合計 191,577人	合計 207,352人	合計 151,099人

※広報イベントJAPAN NIGHT (日本橋エリア) 一般来場者は別途15,200人

【主 催】公益社団法人 日本観光振興協会／一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)／日本政府観光局 (JNTO)

ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄

4日間合計24,174人が来場

ニューノーマル時代の安全・安心なイベントのモデルを示し、新しいツーリズムのカタチを沖縄から世界に発信!

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会(JATA)、日本政府観光局(JNTO)は、2020年10月29日(木)～11月1日(日)に沖縄コンベンションセンターおよび宜野湾市立多目的運動場で「ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄」を開催した。7回目となる今年は、「旅のチカラで日本を世界を元気に!」をテーマに沖縄で初開催。ニューノーマル時代の安全・安心なイベントのモデルを示すとともに、落ち込んだ観光需要復活に向け、新しいツーリズムのカタチを発信した。世界30カ国・地域、国内28道府県、285の企業・団体が出展し、来場者数は4日間合計で24,174人を記録した。

基調講演では、国連世界観光機関(UNWTO)のポロリカシユヴィリ事務局長、世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)のゲバラ理事長の祝辞に続き、沖縄観光コンベンションビューローの下地会長、フィリピン観光省のプヤット大臣の講演が行われた。「インターナショナル・ツーリズム・フォーラム」では、各国駐日大使や国内の観光関係者が国際観光再開に向け議論を交わし、その様子をライブで配信。商談会においては、リアルとオンラインを併用し、事前マッチングによる商談件数は1,786件となった。また、旅行商品造成を目的に離島を含む沖縄県内のファムツアーを実施、約100名のバイヤーが参加した。

新型コロナウイルス感染症防止対策としては、全来場者・出展者・主催関係者に向け、マスク着用を義務化、サーマルカメラによる体温検知を徹底。来場は完全事前予約制とし、時間帯別に人数制限を設け、リアルタイムで入場者数をコントロール。各

種イベントについても、ぎのわん海浜公園全体を活用し、来場者の分散を図った。

展示会場のブースでは、VRやCGを駆使し、臨場感あふれる観光体験を提供するなど、ニューノーマル時代に即した多彩な旅の楽しみ方を提案。JNTO主催の「インバウンドセミナー in 沖縄」「ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市2020」「おきなわフードフェスタ」「島ぜんぶでお～きな映画上映会」「タヒチの島々 The Islands of Tahiti～情熱のタヒチアンダンス～」を同時開催し、好評を博した。

2021年は、11月25日(木)～11月28日(日)に再び大阪・関西(インテックス大阪)で開催。2025年に国際博覧会(万博)が開催される大阪・関西から観光産業の復活を世界に発信する。



左から：ミス沖縄スカイブルー 岩本華奈さん、日本政府観光局(JNTO)理事長 清野智、公益社団法人日本観光振興協会 理事長 久保田稔、一般社団法人日本旅行業協会 会長 坂巻伸昭、ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長 高橋広行、一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地芳郎氏、ミス沖縄コバルトブルー 山里ひかるさん

ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄 4つの事業

UNWTO、WTTCと連動した基調講演、国際会議

① ツーリズムEXPOジャパン フォーラム&セミナー

沖縄初開催を歓迎し、伝統芸能を披露!

③ OKINAWA NIGHT

出展者のビジネス効果を追求する展示商談会

② 展示商談会

SDGsの推進、ICTの活用、コロナ感染に対応した取り組みも! 応募総数178件

④ ジャパン・ツーリズム・アワード

合同開催・同時開催事業

コロナ後の旅行トレンドと対策、各国の最新情報を共有!

インバウンドセミナー in 沖縄

(主催：日本政府観光局(JNTO))

「新しい生活様式」に対応するソリューションが集結!

ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市2020

(主催：ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市実行委員会)

沖縄県内の人気フードが一堂に!

おきなわフードフェスタ

(主催：ツーリズムEXPOジャパンおきなわフードフェスタ運営事務局)

首里城で琉球舞踊やプロジェクションマッピングを鑑賞!

Night Reception in Shurijo Castle

(主催：沖縄県、沖縄開催応援団、沖縄開催地連絡協議会)

地域発信型映画を上映!

沖縄国際映画祭2021プレイベント

島ぜんぶでお～きな映画上映会

(主催：沖縄県 運営：株式会社よしもとラフ&ピース)

青空の下、華麗なダンスを披露!

タヒチの島々 The Islands of Tahiti～情熱のタヒチアンダンス～

(主催：一般社団法人日本旅行業協会(JATA))



首里城復興支援金贈呈式

日本旅行業協会(JATA)より、首里城の再建に向けて旅行代金の一部を寄付する活動と会員募金で集めた支援金贈呈式が行われ、沖縄県の富川副知事へ支援金の目録が贈られた。

一般社団法人 日本旅行業協会 会長 坂巻伸昭と沖縄県副知事 富川盛武氏

開会式

10月29日(木) 13:15～13:30
沖縄コンベンションセンター(劇場棟)

公益社団法人 日本観光振興協会 会長 山西 健一郎



国土交通省 観光庁 国際観光部長 金子 知裕氏

原点回帰し「旅のチカラ」を沖縄から内外に発信

開会式では日本観光振興協会の山西健一郎会長が、新型コロナウイルス感染拡大により、世界の観光産業に大きな打撃を与えている状況下での開催となったTEJ2020について、「原点に立ち返り、旅のチカラで日本を世界を元気に!」をテーマにした」と挨拶。感染症対策を徹底しながら、「今回の世界的な危機を一刻も早く克服すべく、国際交流の世界的な復活に向けたメッセージをここ沖縄から世界に発信する」と宣言した。

菅義偉内閣総理大臣からは祝電が寄せられ、「コロナ禍にあっても、我が国の豊富な観光資源には何ら変わりはない。多くの人が日本の津々浦々を訪れ、地域が元気になるよう、コロナ危機で落ち込んだ観光需要の回復に政府として全力を挙げ

て取り組んでいく」とのメッセージが披露された。

また赤羽一嘉国土交通大臣(国土交通省 観光庁 国際観光部長 金子知裕氏が代読)からは、「この厳しい時間を真の観光先進国の実現に向けた助走期間と捉え、ポストコロナの時代も見据えて、魅力ある滞在コンテンツの造成や、観光インフラ整備の強化、観光産業の高付加価値化・生産性の向上を目指す」との方針が示された。

[登壇者]

ご来賓: 国土交通省 観光庁 国際観光部長 金子 知裕氏／一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎氏、ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市 実行委員会 委員長 稲垣 純一氏

主催者: 公益社団法人 日本観光振興協会 会長 山西 健一郎／一般社団法人 日本旅行業協会 会長 坂巻 伸昭／日本政府観光局 (JNTO) 理事長 清野 智／ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長 高橋 広行

祝辞／基調講演

10月29日(木) 13:40～14:30
沖縄コンベンションセンター(劇場棟)

テーマ コロナ感染を乗り越え、強靱で持続可能な観光成長をめざす

ニューノーマル時代の観光再開へ、国内外でさまざまな取り組み

国連世界観光機関 (UNWTO) と世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) からは、祝辞のビデオメッセージが寄せられ、ポロリカシュヴィリUNWTO事務局長は「ツーリズムは、これまでも幾多の苦難を乗り越えてきたし、今回も皆が力を結集することで乗り越えられるだろう。これをさらなる成長の機会とするためには、コラボレーションとパートナーシップが欠かせない」と訴えた。

ゲバラWTTC理事長兼CEOは「前例のない危機には、前例のないアクションと協力を」と呼びかけ、「WTTCでも世界保健機関や米国疾病予防管理センターなどと共に感染リスク軽減のプロトコルを策定した。ウイルスとどう共存するかを学ぶことで、健康と命を守りながら旅行を再開することができる」と話した。

基調講演では、沖縄観光コンベンションビューローの下地会長が「憩うよ、沖縄。」をテーマに取り組むニューノーマル時代の沖縄観光について、その2つの柱となる施策を紹介。「防疫型の観光推進」を掲げ、各空港をはじめ、県内各地で感染防止対策を徹底し、旅行者の安心につなげていくこと、そして「量から質への転換」を目指し、観光客の消費単価向上を図る方針を示した。また「今話題のワーケーションでは、

長期滞在を促すと同時に、子供の教育や、健康面での不安を解消するクリニックの拡充など、複合的に取り組む必要がある」との考えを示した。

続いて、ビデオメッセージ形式で登壇したフィリピンのプヤ

ット観光大臣は、フィリピン政府が現在、国家観光開発計画 (NTDP) をニューノーマルに即したものと刷新する協議を進めており、安全で楽しい国内旅行を支える政策や、ツーリズム産業の雇用や生産性強化に取り組んでいることを明らかにした。コミュニティのレジリエンスや持続可能性、リカバリープランの実現について、アジア開発銀行や世界銀行と協議を進める一方、オンライン認証システムの拡充など、旅の安全・安心の確保にイノベーションを活用する方針も打ち出している。

国連世界観光機関 (UNWTO) 事務局長
ズラブ・ポロリカシュヴィリ氏世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) 理事長兼CEO
グロリア・ゲバラ・マンゾ氏一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長
下地 芳郎氏フィリピン共和国 観光大臣
ベルナデット・ロムロ・ブヤット氏

インターナショナル・ツーリズム・フォーラム

 10月29日(木) 14:45~16:15
 沖縄コンベンションセンター(劇場棟)

テーマ コロナ感染を乗り越え、強靱で持続可能な観光成長をめざす



「観光が再び成長を始めるために」 コロナ時代のリスク管理と持続的発展など討論

新型コロナウイルス感染症の世界的流行下での開催となった本フォーラムには、3カ国からの駐日大使や日本の行政、民間から観光業界をリードする登壇者6名が集い、コロナ後の世界の新しい生活様式に即した観光のあり方や、多様なステークホルダーと協調することで実現する観光業界の持続的な成長、求められる官民による協力体制などについて見解を述べた。また、日本では政府主導のGo To トラベル事業開始を契機に、国内旅行から段階的に観光業の再活性が進む中、国境をまたぐ往來の展望についても意見が交換された。

ツーリズムの役割を強固なものに

国際旅行者数の大幅な減少は、3200億ドルの損失と1億2000万人の失業危機をもたらし、先進国に大きな打撃を与える一方、発展途上国は緊急事態に直面している。

(1)社会的・経済的な危機の抑制、(2)ツーリズムバリューチェーンの強靱性確立、(3)テクノロジーの最大活用、(4)サステナビリティの推進と緑化の促進、(5)SDGsへのサポート拡大を優先しつつツーリズムの回復を図り、雇用や収入の確保、文化や自然の保護を担う役割を強固なものにしよう。(ビデオメッセージ)


 第9代国連事務総長
 アントニオ・グテレス氏

高まる観光交流再開への機運

新型コロナウイルスの感染拡大は未曾有の世界的危機をもたらし、ツーリズムもドラスティックな変化を強いられてきた。

しかし、現在、社会・経済の拡大にとって世界的な成長エンジンであるツーリズムの重要性が再認識され、ツーリズムの再開へ信じられないほど機運が高まっている。PATAとしても、アジア・太平洋地域におけるツーリズムの発展に向けて官民のパートナーとの協力を通じ、責任ある役割を果たしたいと考えている。(ビデオメッセージ)


 太平洋アジア観光協会
 (PATA) CEO
 マリオ・ハーディ氏

 タイ王国大使館
 特命全権大使
 シント・ラーベートバン氏

感染対策強化と外国人客へのビザ発給を

タイ政府は国内観光の活性化に舵を切り、旅行中の宿泊費や食費の一部を補助するキャンペーンを実施した。また、新型コロナウイルス感染リスクの低い国からの旅客へはビザを発行するなど国境を開き始めている。一方で、入国前のPCR検査要請や入国後の14日間の隔離など感染対策を強化。ホテル、観光地、交通機関などの安全性を証明するSHA認証制度も開始した。これらが観光復興と同時にSDGsへの貢献にもなると予想している。


 国土交通省
 観光庁 国際観光部長
 金子 知裕氏

Go To トラベルで需要喚起と感染防止を両輪に

災害における危機管理についての指針を採択したG20観光大臣会合から約1年、コロナ禍による観光業界の危機を乗り越えるべく、日本政府は観光の需要喚起と感染拡大防止策の普及を目的とした施策、「Go To トラベル」を実施。段階的に入国制限が緩和される中、観光による国際交流再開と東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人旅行者の受入環境整備と新たな観光コンテンツの創出を推進するとともに、来年、東京で大臣会合の開催も予定している。


 スペイン王国大使館
 特命全権大使
 ホルヘ・パルド氏

EU回復支援ファンドの活用でインフラ改善

スペインでは観光がGDPの10%を占め、2019年は8300万人以上の外国人客が訪れた。現在パンデミックの第2波が欧州を席巻しているが危機はチャンスと捉え、インフラ改善、デジタル化、旅行業界で働く人々への教育等、さまざまな対策を講じている。カナリア諸島のような比較的感染リスクが少ない場所から観光を再開する計画もある。EUの回復支援ファンドからはスペインに1400億ユーロが拠出されている。厳格な感染対策を取り、悪夢を終わらせたいと望んでいる。


 日本政府観光局(JNTO)
 理事長代理
 吉田 晶子氏

持続可能なインバウンド観光へ

持続可能な観光の発展を目指すにあたって、解決すべき既存の問題のひとつとして、オーバーツーリズム問題がある。JNTOは、この解決に向けて旅行先の多様化を進めるため、地域コミュニティをはじめとするさまざまなステークホルダーとの協調を重要視している。観光を、地域と文化遺産の活性化にとって必要なツールと捉え、旅行者の受け入れ体制の整備、観光コンテンツの充実化、旅行者との関係維持、情報共有などの支援を続ける。


 エジプト・アラブ共和国
 大使館 特命全権大使
 アイマン・カーメル氏

5月の旅行解禁で10月までに25万人来訪

2020年3月から入国制限を実施したが、雇用の12%、GDPの20%を占める観光産業への影響は大きかった。国内感染者減少を受け、WHOの勧告に則り5月には国内観光を、7月には外国人観光客受け入れを再開し、10月までに15カ国から25万人以上が訪れた。入国前のPCR検査やホテルでの検温等の予防措置と並行し、ビーチエリアや遺跡の最寄り空港へ直行する旅客のビザ料金免除、チャーター便の燃料価格引き下げなどのインセンティブを設け、ニューノーマルへの適用を図っている。


 株式会社JTBC
 代表取締役 社長執行役員
 山北 策二郎氏

顧客体験のエコシステムを構築する

「Go To トラベル」などの施策により国内旅行は一定の回復を見せる中、次の課題は国境をまたぐ移動の解禁である。今のこの時期を観光復興の良い機会と捉え、宿泊や交通などの観光事業者だけでなく、三密防止に役立つデジタル技術を有する起業家なども含めた多くのステークホルダーとも協調し、プランニングから旅行の終了後までのすべての段階における顧客体験の向上を優先したエコシステムを構築することが持続可能な観光につながる。

国際的な協力を実現するプラットフォームに


 国連世界観光機関
 (UNWTO) 上級部長
 ジュウ・シャンジョン氏

今日のディスカッションから得られた教訓は、現在の新たな事態における旅行・ツーリズムセクターのリカバリーに向けて、間違いなく資するものになると確信している。UNWTOとしては、国際的な協力を実現するための地球規模でのプラットフォームとして、力強く機能していきたいと考えている。私自身も、ツーリズムが持続可能な形で再びスタートを切れるように、さまざまな考え方やソリューションを見出すべく努力を続けることをすべての関係者の皆さんに強く呼びかけたいと思う。(ビデオメッセージ)

「協働」が持続可能な観光の鍵に

質疑応答では、旅行における消費者の健康、安全、信頼といった要素が循環する観光のエコシステムの創造には不可欠であるといった点について意見が交わされた。また、旅行を安全に再開するには、世界各国の状況に応じて国境の開放を検討すべきとの見解が述べられた。旅行はSDGs(持続可能な開発目標)を反映したものでなければならないという意見や、さまざまなステークホルダーの力を借りて、旅行が歓迎され安全であることを伝えられるという見方も提示された。コーディネーターのデューイ氏は締め括りとして、「協働することによって持続可能な観光を実現できる」と述べた。


 株式会社コネクトワールド
 ドワイド・ジャパン
 代表取締役
 マージョリー・デューイ氏

テーマ別シンポジウム

10月30日(金) 10:00~17:00 沖縄コンベンションセンター(会議棟A1)

ダークスカイツーリズム(星空観光) シンポジウム

10:00~12:00

テーマ ダークスカイツーリズム「星空観光」

「星空保護」の取り組みが観光需要を喚起し生態系を回復させる

観光資源、環境保護の両面から注目されるダークスカイツーリズム(星空観光)。2018年に西表石垣国立公園がIDA(International Dark-Sky Association/国際ダークスカイ協会)によって「星空保護区」に日本で初認定されたこともあり、星空保護がもたらす観光需要喚起、経済効果、光害(不要・過剰な光が生態系に及ぼすさまざまな害悪)対策に期待が集まる。

冒頭、石垣市の中山市長は「日本から観察できる全88の星座のうち84が見られる八重山は日本一の星空だと思う」と魅力を強調した。IDAのダルトン氏はビデオ講演を通じ、「この分野で日本がアジアのリーダーになれる可能性は十分ある」と語った。小澤氏はオンライン中継で、2012年に星空保護区に認定されたニュージーランドのテカポ地区について、認定後の効果を紹介した。

パネルディスカッションでは越智氏が八重山諸島の現状と課題に触れ、友利氏は「光害対策が生態系や人体、省エネに良い影響を与えるという認識はまだ低い」ことを懸念。竹中氏はイリオモテヤマネコの交通事故の増加に触れ、光害が夜行性野生動物の生態系に与える影響を指摘した。

MC 挨拶: 中山 義隆氏(石垣市長)

基調講演1 アダム・ダルトン氏(International Dark Sky Places Program Manager)(ビデオメッセージ)

基調講演2 小澤 英之氏(ニュージーランド TEKAPO Dark Sky Project Director)(オンライン中継)

モデレーター: 越智 信彰氏(国際ダークスカイ協会東京支部 代表、東洋大学 准教授)

パネリスト: 小澤 英之氏

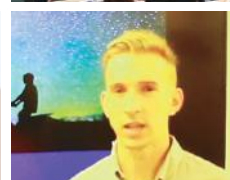
竹中 康進氏(環境省 那覇自然環境事務所 西表自然保護官事務所 自然保護官)

友利 恵子氏(一般社団法人星空H2O 八重山地域振興会 代表理事)

●主催: 石垣市、竹富町、一般社団法人八重山ビジターズビューロー、国際ダークスカイ協会東京支部、一般社団法人星空H2O八重山地域振興会



中山 義隆氏



アダム・ダルトン氏



小澤 英之氏



越智 信彰氏



竹中 康進氏



友利 恵子氏

アドベンチャーツーリズム・シンポジウム

13:00~14:00

テーマ 沖縄におけるアドベンチャーツーリズムの可能性

地域と深くつながり自己変革を果たす高付加価値な旅

山下氏は冒頭、アフターコロナにおいてはアドベンチャーツーリズム(以下、AT)が旅行産業を牽引すると話した。ATは「アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち2つ以上が含まれる旅行」で、キーワードとして「ユニークな体験、旅を通じた自己変革、旅行前より健康に、挑戦、文化や自然に対してローインパクト」の5つが挙げられる。

酒井氏はスウェーデンで開催されたATの国際大会を紹介し「沖縄ではATが始まったばかり。いかに普及させるかが課題」と話した。谷村氏は国立国定公園誘客推進事業としてツアーを準備中で「AT顧客層を満足させるツアーを実施していきたい」と意気込みを語った。野池氏は「長野県は冬季と夏季で観光客数の変動が大きく、ATはその課題を解消する手立てとなりうる」と分析。芹澤氏は豊富な海外事例を紹介し「ATの肝となるのはツアーのコーディネーターやガイドの力量。人材育成が急務だ」と指摘した。また、現地の人材が活躍する場になるべきだとし、現地の人々が何を守っていききたいのかをAT参加者に伝える重要性にも触れた。

モデレーター: 山下 真輝氏(一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事、株式会社JTB 総合研究所 主席研究員)

パネリスト: 酒井 達也氏(一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 企画・施設事業部企画課 主査)

谷村 祐気氏(株式会社ジャンボツアーズ 社長付 インバウンド事業部 セールスマネージャー 兼 デジタルマーケティング担当)

芹澤 健一氏(一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事、アルパインツアーサービス株式会社 代表取締役社長)

野池 明登氏(一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事、一般社団法人長野県観光機構 代表理事専務理事)

●主催: 一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会



山下 真輝氏



酒井 達也氏



谷村 祐気氏



芹澤 健一氏



野池 明登氏

ISCO Presents「DX(デジタルトランスフォーメーション)・シンポジウム」 15:00~17:00

テーマ DX先進地に学ぶ沖縄観光の未来

人手不足対策・持続可能な社会作りに加えコロナ対策にも有効なDX

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、旅行産業においてもコロナ危機対応のカギと注目される。シンポジウムでは電子ID普及率が99%とこの分野で世界をリードするエストニアや、今夏から電子IDサービスを導入した石川県加賀市の事例が紹介された。

続いてDXが沖縄観光で果たす役割や可能性を議論。エストニアからオンライン参加した齋藤氏は、同国では人口密度が低い中で行政サービスを効率良く提供する手段として電子IDが普及したと説明し、モビリティ弱者である高齢者向けや環境負荷が低い社会インフラとしても評価されていると紹介した。一方でDXは目的ではなく手段であり、解決すべき課題の抽出が重要だとした。福島氏は、DXは人手不足、持続可能な社会を目指す世界的な気運に加え、コロナ対策としても注目が高まったと指摘。「アナログな工夫とうまく組み合わせ、使いやすくする必要がある」と話した。宮里氏はメリットを理解する賛同者を増やすことが、スムーズな推進のカギになると指摘。稲垣氏は「共通プラットフォームを作れば、よりよい循環が生まれる」と提案した。

◇ 挨拶：稲垣 純一氏（一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター 理事長／ResorTech Okinawaおきなわ国際IT見本市 実行委員会 委員長）

基調講演 齋藤 アレックス 剛太氏（SetGo Estonia Co-Founder / xID 株式会社 Biz Dev Lead）（オンライン中継）
クロストーク

モデレーター：稲垣 純一氏

パネリスト：齋藤 アレックス 剛太氏（オンライン中継）

福島 健一郎氏（一般社団法人シビックテックジャパン 代表理事）

宮里 大八氏（沖縄県経済文化振興課観光課 主幹）

● 主催：一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター（ISCO）



稲垣 純一氏



齋藤 アレックス 剛太氏



福島 健一郎氏



宮里 大八氏

10月29日（木）13:00~15:00 沖縄コンベンションセンター（会議棟A1）

インバウンドセミナーin沖縄

● 主催：日本政府観光局（JNTO）

コミュニケーションを継続し未来の訪日旅行に繋げる

日本政府観光局（JNTO）は、アフターコロナのインバウンドプロモーションのあり方をテーマにセミナーを開催した。

まず山本氏が「コロナ後の旅行トレンドと対策」をテーマに講演。パンデミックを機に進んだあらゆるものごとのオンライン化を踏まえ、JNTOが重要視していることとして「コミュニケーションの継続」「旅行への強い動機付け」「安心・安全情報の発信」などを挙げ、将来的な訪日旅行につなげることを狙いとするJNTO制作の動画「hope lights the way」を紹介した。一方で、渡航がない今こそ、需要の平準化、多様性への対応、環境への配慮、サステナビリティの実現など、従来の課題に取り組む好機ではないかと指摘した。

続いてオンライン中継で、日本台湾交流協会台北事務所経済部主任の畠中環氏、JNTO香港事務所所長の薬丸裕氏から、各国の最新状況とプロモーションの方針などが共有された。最後に挨拶に立ったJNTO理事長の清野智氏は、両地域の取り組み事例に触れるとともに、自然や文化など新しいコンテンツづくりにつき地域連携を通じて行う重要性などを指摘した。

山本 研二氏（日本政府観光局（JNTO）海外プロモーション部 東アジアグループ 次長）

畠中 環氏（公益財団法人日本台湾交流協会 台北事務所 経済部 主任）（オンライン中継）

薬丸 裕氏（日本政府観光局（JNTO）香港事務所 所長）（オンライン中継）

清野 智氏（日本政府観光局（JNTO）理事長）



清野 智氏



山本 研二氏



畠中 環氏



薬丸 裕氏

貸切バスの運賃料金制度等についてのセミナー



10月30日(金) 14:00~15:30
沖縄コンベンションセンター
(会議棟A2)
主催: 観光庁

旅行業者が貸切バスの安全の確保の観点から 遵守しなければならない事項を中心に説明

2016年1月15日の軽井沢スキーバス事故以来、JATAでは観光庁および国土交通省自動車局と連携を図り、旅行業者が貸切バス事業者と取引する際の安全に対する取り組みを継続・強化。全国主要都市において、「貸切バス運賃料金制度セミナー」を実施してきたが、今回は会期中にセミナーが開催された。

内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課の宮城課長補佐より、最新の情報に基づいた貸切バスの運賃・料金制度について、観光庁からは参事官(旅行振興)付の重松専門官より、旅行業者が貸切バスを利用する際に知っておくべき法令並びに安全への取り組みについて説明があった。受講者はほぼ全員地元沖縄県内の旅行業者で、満席の会場では、熱心に聴講する姿が見受けられ、安全への取り組みの重要性を改めて認識する機会となった。

Build Back Better ～危機に強い沖縄観光を目指して～



10月30日(金) 10:30~12:00
沖縄コンベンションセンター
(会議棟A2)
講師: 翁長 由佳氏
(株式会社サンダーバード
代表取締役)

沖縄県の危機管理の原点から Withコロナ期の取り組みまで解説

危機に対して脆弱であるとされる観光産業が、危機に対してどのように準備し、また危機が去った後にどうすべきかについて考える「Build Back Better ～危機に強い沖縄観光を目指して～」のセミナーが開催された。観光に関する危機管理を専門に研究する翁長由佳氏が、沖縄県が観光危機管理に取り組み始めたきっかけや、米国同時多発テロや東日本大震災といった、沖縄観光に大きな影響を与えた危機からどのように立ち直ってきたかについて説明した。

翁長氏は「危機が去った後、安心して何もしないのではなく、詳細に検証して次にどう備えるかが重要」などと語り、Withコロナ期に衛生面やプロモーション面で取り組むべき事項にも言及した。



翁長 由佳氏

第7回世界遺産サミット



10月30日(金) 14:30~17:00
ラグナガーデンホテル
大宴会場「羽衣」
主催: 世界遺産登録20周年
記念事業実行委員会

「世界遺産で紡ぐ日本の歴史とSDGs」 をテーマに次世代向け新たな魅力を発信

世界遺産の保全や活用における各種取り組み、課題などについて共有を図るとともに、世界遺産の魅力を広く発信することを目的に開催されている「世界遺産サミット」。7回目を迎える今年は「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録20周年記念事業として、沖縄で開催された。

冒頭では、玉城デニー沖縄県知事、鶴保庸介参議院議員、國場幸之助衆議院議員、屋良朝博衆議院議員の挨拶に続き、共催者として観光庁の金子知裕国際観光部長が挨拶。続いて玉城沖縄県知事により、首里城復興に係る取り組みが紹介された。

基調講演では、「世界遺産で紡ぐ日本の歴史とSDGs」をテーマに、高崎商科大学の熊倉浩靖特任教授が、狭い国土に19もの文化遺産を擁する日本の歴史に触れ、「日本の世界文化遺産のありようは、SDGsや多様性の統合を考える道標になるのではないか」などと提言した。

このほか、3つの分科会発表や首長会議も行われ、次回開催地である須藤秀忠富士宮市長からもビデオメッセージが届いた。

沖縄観光危機管理セミナー



10月30日(金) 11:30~13:00
沖縄コンベンションセンター
(会議棟B1)
主催: 沖縄県、一般財団法人
沖縄観光コンベンション
ビューロー (OCVB)

沖縄県の観光危機への 取り組み事例などを紹介

沖縄県の観光危機管理に関する知識の普及などを目的に「沖縄観光危機管理セミナー」が開催された。冒頭の挨拶で富川盛武沖縄県副知事は、「沖縄県は観光客と観光産業を守るための基本計画等を策定しており、世界水準の観光リゾート地の形成に向けて、観光危機管理に取り組んでいる」などと語った。

セミナーでは、沖縄県より下地誠氏が、過去の観光危機管理の取り組みと新型コロナウイルス感染症への対応についての事例を紹介。また、OCVBより前原正人氏が「コロナ禍で安全・安心が観光地のブランド力に大きな影響があることを再認識した」などと語り、県民が観光客を気持ち良く迎えるには、「取り組みを県民にも周知する必要がある」と強調した。



下地 誠氏

OKINAWA NIGHT

10月29日(木) 16:30~17:15 沖縄コンベンションセンター(劇場棟)

「ツーリズムEXPOジャパン」沖縄初開催を歓迎し、伝統芸能を披露

ツーリズムEXPOジャパンが沖縄で初めて開催されたことから、初日の夕方には「OKINAWA NIGHT」が開催された。イベントの冒頭には沖縄県の玉城デニー知事も駆けつけ、来場者に歓迎の言葉を述べた。玉城知事は、「ツーリズムEXPOジャパンは、今年度、本県において初めてとなる大型イベントの開催となる。感染予防対策の徹底のほか、新しい生活様式でのイベントのあり方を示すとともに、安全・安心な観光地沖縄を発信していく」などと述べ、落ち込んだ観光需要の回復を誓った。

沖縄を代表するエンターテインメントの披露では、沖縄空手上地流の第一人者らが型の演武や約束組手、板の試割りを実演。来場者は迫力ある演武に魅了された。続いて沖縄の伝統芸能のエイサーが始まると、パフォーマンスが熱気を帯びてくるにつれ、来場者も手拍子で応えるなど会場全体が一体となった盛り上がりを見せ、ツーリズムEXPOジャパンの沖縄開催に花を添えた。

[登壇者]

ご来賓:

金子 知裕氏(国土交通省
観光庁 国際観光部長)
玉城 デニー氏(沖縄県知事)

主催者:

高橋 広行(ツーリズムEXPO
ジャパン実行委員会 委員長)

高橋 広行



金子 知裕氏



玉城 デニー氏



空手発祥の地、沖縄の迫力ある空手演武



沖縄伝統芸能・エイサーの代表的な演目「唐船ドイ」

Night Reception in Shurijo Castle

10月29日(木) 17:50~(バス移動含む) 首里城公園

「見せる復興」に取り組む首里城で
琉球スタイルのレセプションを開催

OKINAWA NIGHT終了後、参加者は環境配慮かつ新型コロナウイルス感染症対策仕様のEVバスに乗り、首里城公園へ移動。「Night Reception in Shurijo Castle」に臨んだ。一行は守礼の門前にて知事ら主催者の歓迎を受け、首里城遺構を視察。レセプション会場で琉球舞踊およびありし日の首里城の映像を鑑賞した。

会場で挨拶に立った沖縄県の玉城デニー知事は「首里城は2019年10月31日未明、正殿、北殿、南殿といった8つの施設が焼失。国内外から温かい励ましやご支援をいただき、感謝している。政府は、2026年までに正殿の復元を目指しており、沖縄県も協力して取り組んでいる。皆さんにも今日のレセプションを通じて沖縄の歴史、文化、芸能、食を知り、内外に発信していただきたい」などと話した。最後には、歓会門で首里城復興への機運を高めるイベントの1つである「首里城プロジェクションマッピング」を鑑賞した。





ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市2020

10月29日(木)～11月1日(日)
沖縄コンベンションセンター(展示棟)

主催: ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市実行委員会

幅広い分野のITソリューション企業が一堂に会したResorTech

日本屈指のリゾート地である沖縄での開催となった今回は、沖縄コンベンションセンター展示棟の約半分を使って「ResorTech Okinawa おきなわ国際IT見本市2020」が、ツーリズムEXPOジャパンと同時開催された。情報通信やシステム開発、ソフトウェア開発を手がける事業者のほか、翻訳やVR、教育など、国内外から幅広い分野のITソリューション関連事業者が数多く出展。国内外のITソリューション企業と沖縄県内外のあらゆる産業とのビジネスマッチングを行うというResorTechの目的のもと、コロナ禍での展示会開催ということもあり、特にニューノーマルを見据えた展示が目立った。さらに、新たな日常に

おけるツーリズムの発展に応用できる展示も数多く見られた。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、ResorTechでもオンライン展示会を開催。オンライン展示会に参加すると、ResorTech関連のシンポジウムやセミナーを視聴できるようにした。このオンライン展示会には4日間で1800人以上が参加するなど、リアルとオンラインを融合させた新たな展示会の形態を示すこととなった。

展示会場では、出展者がマスクやフェイスシールドを着用し、商談スペースには飛沫を防ぐアクリル板や透明なフィルムを設置するなど、万全の感染対策を講じて展示会に臨んだ。

ResorTech

特別講演&特別対談



オードリー・タン氏



玉城 デニー氏

オードリー・タン台湾デジタル担当大臣と玉城デニー沖縄県知事が 新型コロナウイルス感染症とSDGsへの取り組みについて対談

10月31日(土) 16:00～17:00、会議棟A1にて、台湾のオードリー・タン デジタル担当大臣によるキーノートスピーチおよび沖縄県の玉城デニー知事との対談が行われた。

タン氏はオンラインで登壇し、今年2月、新型コロナウイルスが世界的に蔓延する中、地元で信頼のおける8000名の薬剤師を通してマスクを配布。ITを活用した新システムを立ち上げ、感染者や濃厚接触者に接触があったかどうか、また、どこの薬局にマスクの在庫がいくつあるかがわかるようにし、その後も改善を重ね、いち早く新型コロナウイ

ルス感染症を抑え込むことに成功した事例を紹介した。

玉城氏との対談では、相互信頼の重要性に触れ、SDGsの取り組みにあたり、社会・経済・観光が一体化すること、そしてそれをつなげるのがデジタルであることなどを語り合った。玉城氏は「沖縄ではResorTechなどを通じ、リゾート地を支えるテクノロジーとあらゆる産業が相まって持続可能な世界をつくっていく」とし、地理的にも近い距離にある台湾とのさらなる連携と交流を目指していく意向を示した。

商 談 会

10月29日(木)15:00~18:00 10月30日(金) 9:00~18:00 沖縄コンベンションセンター展示棟/宜野湾市立多目的運動場 各出展ブース

三密を避けるハイブリッド型の商談会を初採用

商談会は、初めて採用したオンライン商談会と、各ブースにて対面で行うものを組み合わせた「ハイブリッド型」という形態となった。宜野湾市立多目的運動場会場には、オンライン商談会用の端末が設置され、アポイントメントの時間になるとバイヤーが端末の前に座り、遠隔地の担当者とオンラインで商談を行った。また、ブース内にオンライン商談用の端末を設置す

る出展者も見られた。

そのほか、今回は初の試みとして、商談会のみならず、沖縄県全域を舞台に旅行会社バイヤーやメディアを対象とした現地FAMツアーを15コース催行、約100名のバイヤーが参加した。各コース、アクティビティを体感するツアーやSDGs（持続可能な開発目標）を意識したツアー内容の構成となっていた。



商談会規模

セラー：178名（うち沖縄87名／オンライン27名）

ツーリズムEXPOジャパン2020旅の祭典in沖縄の出展者／ResorTech Okinawaの出展者

バイヤー：158名（うち沖縄10名）

旅行会社（主催および特別協力団体会員企業、ツアーオペレーター品質認証制度登録企業）／メディア（主催者側が選考した旅行情報・旅行番組を提供するメディア各社）／ツーリズムEXPOジャパン2020旅の祭典in沖縄の出展者でバイヤー行為を希望する方／ResorTech Okinawaのバイヤー（ResorTechセラーとのみ商談可能）

商談セッション数：1,786件

商談会2020年の特徴

- | | |
|---|--|
| <p>① 各出展ブース内での商談</p> <p>② 商談会マッチングシステムを利用したアポイントマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 商談相手をレコメンドするシステム運用 ◇ 2日間で最大21セッションの商談プログラム設計 | <p>◇ オンラインOne to One商談の導入</p> <p>③ フリーセッションの新規導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ バイヤー・メディアとの現地でのネットワーキングを拡大する機会の提供 |
|---|--|

在日外国メディア個別商談会

海外渡航の制限がされる中、ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄では在日の外国メディアと出展者の個別商談を実施した。

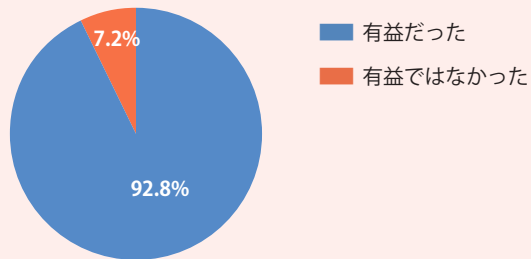
訪日プロモーションに取り組む国内の出展者を対象に、「The Japan Times」「Tokyo Weekender」「Daily Telegraph」「The South China Morning Post」など在外外国メディアが参加した個別商談は、事前に各メディア、ジャーナリストの専門エリアや取材興味、関心をもとに、個別商談を希望の出展者とマッチング。当日は1セッション20分でトータル44セッションを実施し、16の出展者と10名の在日海外メディアが参加した。



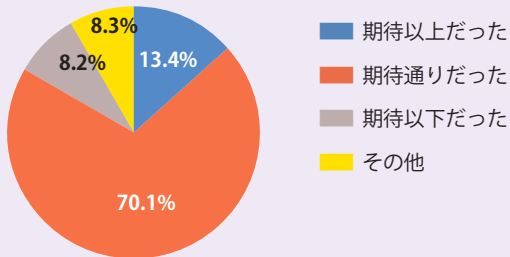
商談会参加者アンケート

セラーアンケート結果 (n=97)

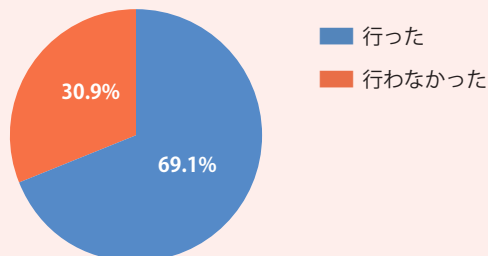
1. 商談会は有益でしたか



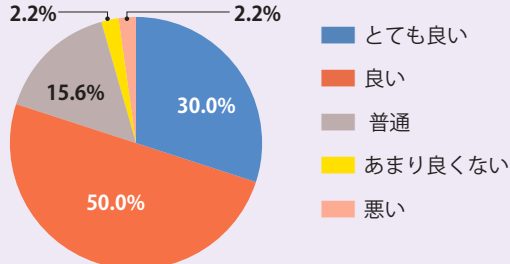
2. 期待していた内容の商談ができましたか



3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか

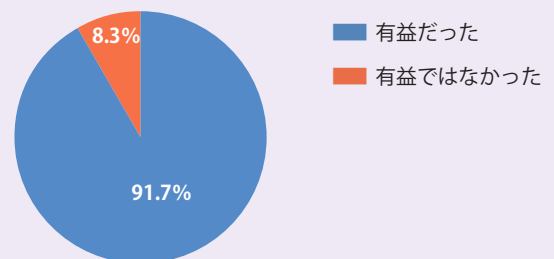


4. 全体的な感染症予防対策のご感想を教えてください

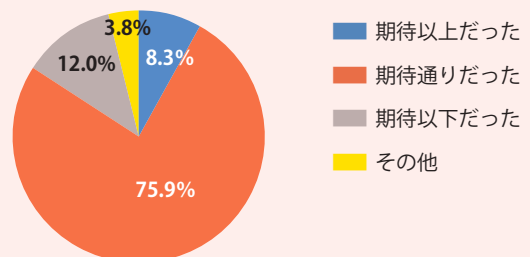


バイヤーアンケート結果 (n=108)

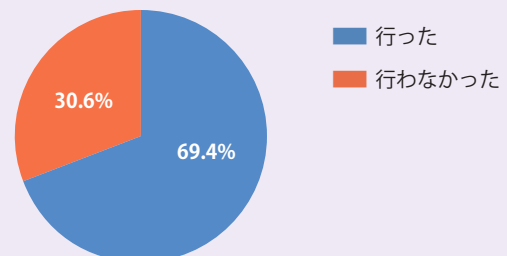
1. 商談会は有益でしたか



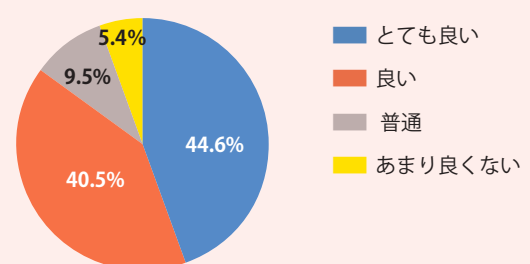
2. 期待していた内容の商談ができましたか



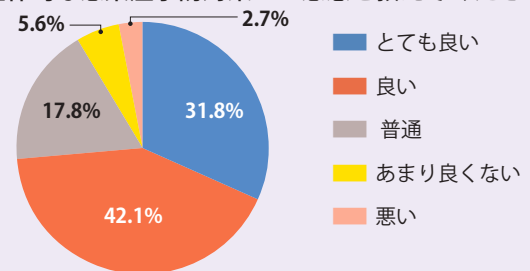
3. 事前マッチング以外の商談を行いましたか



4. 沖縄 FAM ツアーの参加コースの満足度を教えてください



5. 全体的な感染症予防対策のご感想を教えてください



セラーコメント

商談会について

●良かった点

- ・コロナ禍での商談だったため、これからの誘客に向けて旅行会社と非常に良い話ができ、普段話したことがない方からも良いお話をいただけたので、非常に良かった。
- ・これだけの旅行社と一堂に会する機会がないので良かったと思う。地域をPRするいい機会だった。
- ・マッチングにより、効率的かつ実のある商談ができた。
- ・コロナ禍で不安が大きい中、開催できたことに安堵している。
- ・事前マッチングはとても素晴らしいと感じた。確実な商談数も確保され、事前に双方の情報も共有されているので、具体的な話もしやすかった。

●課題点

- ・3時間しかなく1日目は不要だった。2日目だけで十分だった。
- ・感染症対策として、飛沫の防止パネルの設置、マスク、フェイスシールドの着用を行っていたため、会場内の騒音や感染症防止のアナウンス等が弊害となり、大声を出さないと商談できない状況だった。感染症対策を行うのであれば、商談会場は別の場所を設けるべきだったと思う。

バイヤーコメント

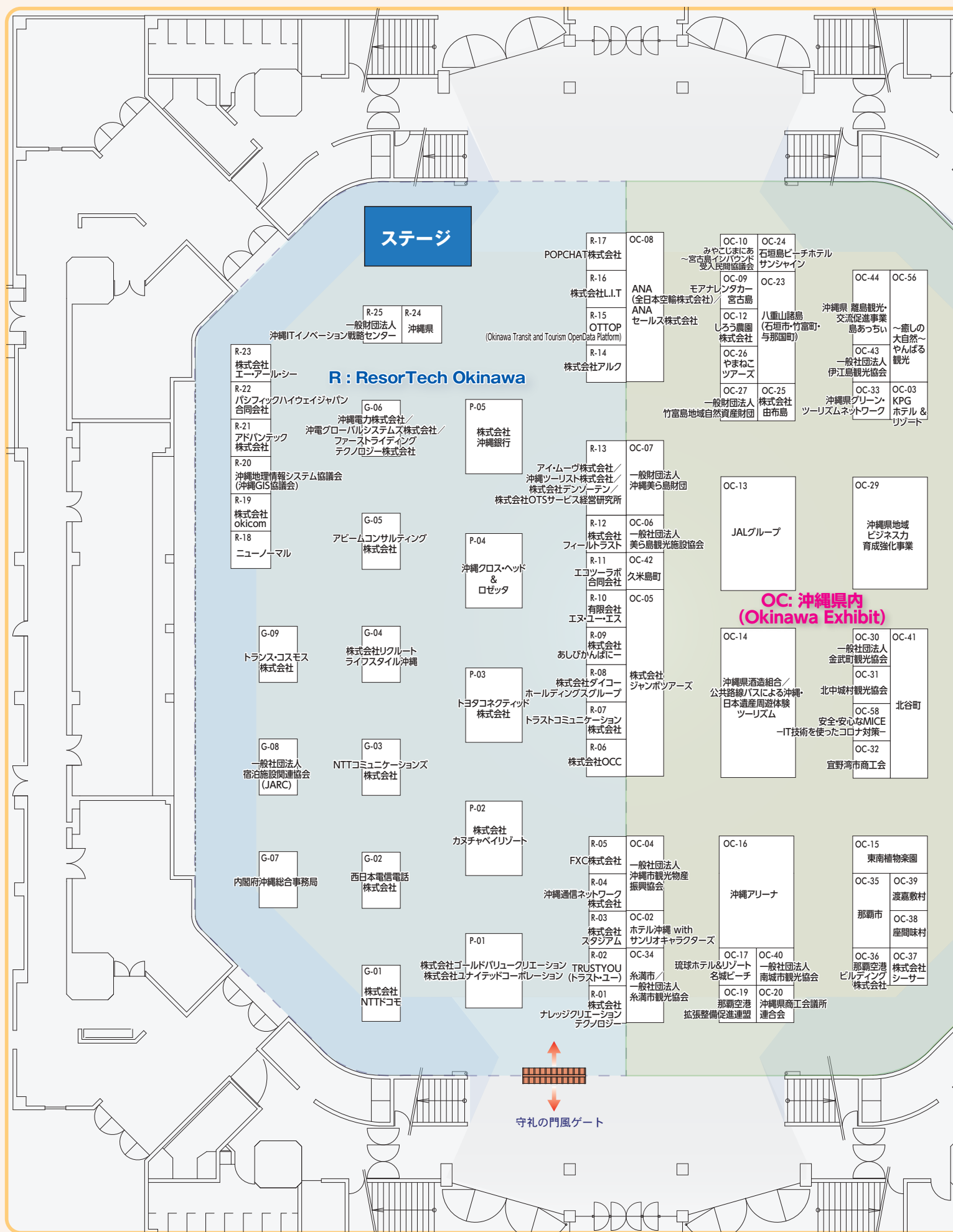
商談会について

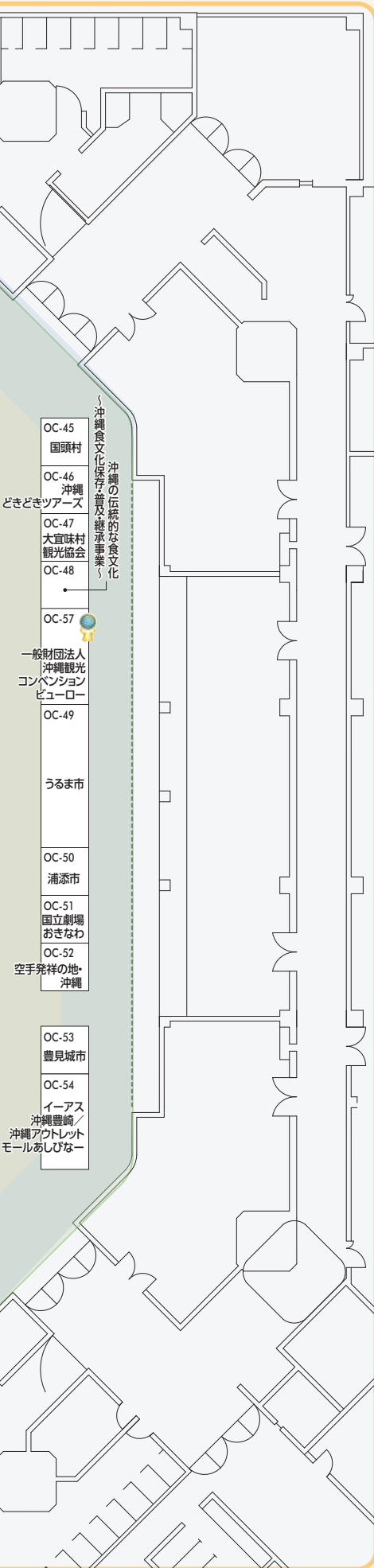
●良かった点

- ・初めてマッチングシステムを利用したので、次々に来るメール対応に最初は戸惑ったが、非常に便利だと思った。

●課題点

- ・今回はコロナ禍での開催ということで、参加できるセラーが限られていた。もっとオンラインをフルに活用できることをセラーにも告知し、特に海外の参加企業数を増やせると良いと思った。
- ・会場間が離れており、何度も行き来するのが大変だった。
- ・マスク&フェイスシールド着用に加えて、アクリル板を挟んで商談するのは相手の声が聞こえにくく、話の妨げになっていた。





新型コロナウイルス感染症対策の下、2会場に分けて展示会を実施

展示会は、三密を避ける目的から、沖縄コンベンションセンター展示棟と宜野湾市立多目的運動場の2会場に分散し、各会場サーマルカメラによる検温、手指消毒、マスク着用などの万全な対策を行い開催された。沖縄コンベンションセンターには、沖縄県内の自治体や観光事業者などが集結。ツーリズムEXPOジャパンを反転攻勢の足がかりにしようと、来場者に観光素材の魅力を熱心に伝えていた。また、宜野湾市立多目的運動場には、海外の政府観光局や大使館、国内および沖縄の自治体や事業者らがブースを構えた。海外旅行の 프로모ーションにおいては、交流再開を見据えて少しでも現地の雰囲気を味わってもらえるような展示内容にするなど、さまざまな工夫が見られた。

新型コロナウイルス感染症対策

国・県の防疫対策と独自の対策により、Withコロナ期の安全・安心なイベント運営に臨んだ。

●アプリ登録の推進

<厚生労働省>

新型コロナウイルス 接触確認アプリ「COCOA (略称)」の登録

<沖縄県>

県内感染状況、感染可能性などを通知するLINE公式アカウント沖縄ー新型コロナ対策パーソナルサポート「RICCA (リッカ)」の登録

●発熱・擬陽性者対応・感染症相談対応

<県外来場者>

旅行者専用相談センター沖縄「Traveler's Access Center Okinawa(TACO)」の案内

<県内来場者>

感染症相談コールセンターの案内

●主催者の主な対策

- ・来場事前予約制／時間帯別入場制限
- ・来場時の「7つのお願い」(感染症対策・取り組み告知)
- ・全ての来場者の事前健康チェックの依頼
- ・感染防止設備対応(検温器、消毒液、換気、各種非接触対応等)



会場内での対応





オンライン商談

業界日のみ出展

C-26 株式会社 ポイント
C-25 シヤチハタ 株式会社
C-23 株式会社VIPグローバル

C-28 株式会社 日本旅行
C-31 株式会社 阪急交通社
C-32 KNT-CT ホールディングス 株式会社

名鉄観光サービス株式会社
C-33 東武トップツアーズ 株式会社
C-35 日本アドベンチャー ツーリズム協議会
C-36

C: 関連企業・団体 (Domestic / Related Companions & Organizations)

C-37
環境省
自然環境局
国立公園課
国立公園利用推進室

23
グリーン
協議会

展示風景



一般財団法人沖縄観光
コンベンションビューロー



那覇市



北谷町



宜野湾市商工会



一般財団法人沖縄美ら島財団



那覇空港ビルディング株式会社



Philippines



中国観光代表処



韓国観光公社



台湾観光協会大阪事務所



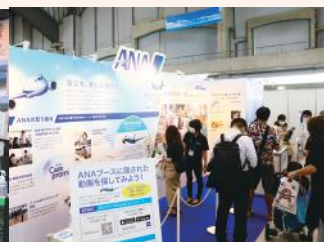
スペイン政府観光局



スポーツ庁



環境省 自然環境局 国立公園課
国立公園利用推進室



ANA (全日本空輸株式会社)



JALグループ

内覧・表敬



外務大臣政務官
國場 幸之助氏



衆議院議員
武井 俊輔氏



参議院議員
鶴保 庸介氏 (左)

参議院議員
三木 亨氏 (右)



国土交通省 観光庁
国際観光部長 金子 知裕氏



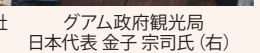
沖縄県知事
玉城 デニー氏



沖縄県副知事
富川 盛武氏 (左)



吉本興業ホールディングス株式会社
代表取締役会長 大崎 洋氏



グアム政府観光局
日本代表 金子 宗司氏 (右)

泡盛・酒蔵ツーリズム (沖縄県酒造組合)

● 主催：公益社団法人 日本観光振興協会

47の琉球泡盛酒造所の泡盛が一堂に！ ソムリエによる味わいのレクチャーを受け、試飲も

ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄の会期中、沖縄県酒造組合が沖縄コンベンションセンター展示棟に出展。沖縄県には、琉球泡盛を製造している酒造所が沖縄本島に27社、8つの離島に20社の計47社あるが、ブース内には47社すべての酒造所が誇る代表的な泡盛がずらりと並んだ。

展示だけではなく、泡盛ソムリエや泡盛の女王による詳しい説明を聞きながらの試飲も行われ、泡盛の味わいや沖縄の食などを含め、新しい魅力を発信した。ここでしか味わうことのできない珍しい泡盛も出品され、業界日・一般日ともに多くの人が訪れた。

また、「沖縄県産肉×琉球泡盛フェスタ」にも沖縄県酒造組合が店を構え、泡盛の販売や泡盛を使ったドリンクなどを提供した。



Withコロナ時代の新しい旅のエチケット紹介ブース

● 主催：一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)

「安全で安心な新しい旅のスタイル」を普及・啓発 セミナーの二元中継も含め幅広く情報を発信！

「安全で安心な新しい旅のスタイル」を普及・啓発することを目的に、宜野湾市立多目的運動場には「Withコロナ時代の新しい旅のエチケット紹介ブース」が設置された。

ブース内では感染防止策の実践例をミニセミナーやパネル・商品展示で紹介。来場者からの問い合わせ・相談に対応するなど、「感染防止」モデルハウスとして、啓発活動を行った。

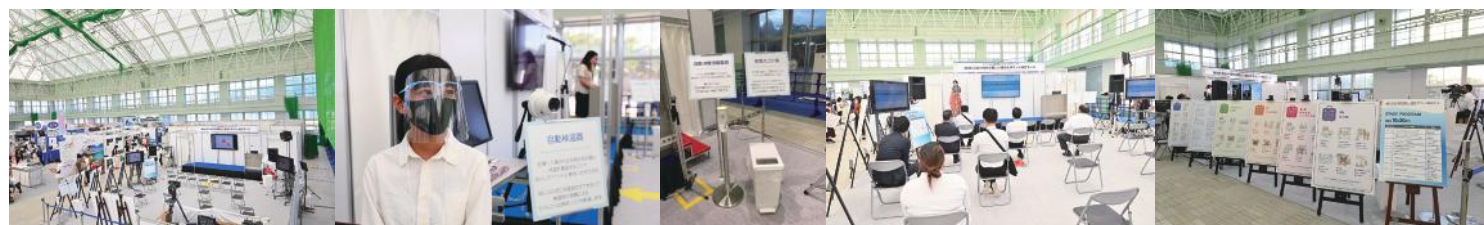
また、10月31日には「Go To トラベルの感染症防止対策」をテーマに、観光レジリエンス研究所代表の高松正人氏の特別講演が行われ、秋田県大館市（ほくしか鹿鳴ホール）で開催された「秋田広域観光フォーラムin大館」で中継講演を実施。ほくしか鹿鳴ホールでは国土交通省 観光庁の片山敏宏参事官が「第一部オープニング挨拶」を行い、オンラインでの二元中継を実現した。



特別講演で登壇したGo To トラベル事務局
アドバイザー・観光レジリエンス研究所
代表 高松 正人氏



「秋田広域観光フォーラムin大館」で挨拶する
国土交通省 観光庁
外客受入担当参事官 片山 敏宏氏





徹底的なコロナ対策を講じ、人気の“食”を提供

会期中、屋外3つのエリアに、県内人気店が集結する「沖縄キッチンカーフェスタ」、県内の和牛・豚肉や泡盛を楽しむ「沖縄県産肉×琉球泡盛フェスタ」、日本・世界各地のカレーを味わえる「旅するカレーフェスタ」が設置された。すべての会場入り口でサーマルカメラによる検温や店舗でのキャッシュレス決済を導入するなど新型コロナウイルス感染症対策を実施。安全・安心の運営環境下、天気にも恵まれ、長蛇の列ができる店もあり盛況となった。

● 主催：ツーリズムEXPOジャパンおきなわフードフェスタ運営事務局



A エリア

10月29日(木) 12:00～18:00
30日(金) 10:00～18:00
31日(土) 10:00～18:00
11月1日(日) 10:00～17:00

沖縄キッチンカーフェスタ

県内の人気キッチンカーが沖縄コンベンションセンターの中央広場に集結。県産豚のハンバーガー、沖縄そば、人気コーヒーなどさまざまなメニューが提供され、来場者の憩いの場となった。



B エリア

沖縄県産肉×琉球泡盛フェスタ

10月30日(金)12:00～18:00/10月31日(土) 10:00～18:00/11月1日(日) 10:00～17:00



沖縄県畜産振興公社の協賛のもと、県産食肉を出す人気店が並び、アグー豚や紅豚を使ったメンチカツやソーセージ、県産和牛のステーキや焼肉などが提供された。また、沖縄県内出展にも参加した沖縄県酒造組合が泡盛のボトルやドリンクを販売。来場者は沖縄の味を堪能した。



C エリア

旅するカレーフェスタ

10月29日(木)～11月1日(日) 11:00～17:00



海外・国内・沖縄県内の展示が行われた宜野湾市立多目的運動場前で開催された「旅するカレーフェスタ」。インド、タイ、韓国など世界のカレーや、京都、北海道など地域の人気カレーが提供され、昼時を中心に賑わいを見せた。



沖縄国際映画祭 2021 プレイベント 島ぜんぶでお～きな映画上映会

● 主催：沖縄県／運営：株式会社よしもとラフ&ピース
11月1日(日) 10:30～17:00 沖縄コンベンションセンター劇場棟



地域発信型映画上映で、日本全国の魅力を発信！

2021年春に行われる、「島ぜんぶでお～きな祭 第13回沖縄国際映画祭」のプレイベントとして、沖縄はもちろん、日本全国の魅力を発信する映画上映会が、11月1日(日)にツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄会場内・沖縄コンベンションセンター劇場棟で同時開催された。

司会は沖縄出身のお笑いタレント、ガレッジセールが務め、日本の各地を舞台にした以下の4本の映画が上映された。

上映の後には、出演者や監督による舞台挨拶もあり、登壇者は「コロナ禍で上映の機会がなかった映画が、こういう形で皆さんに見ていただけることは大変うれしい。撮影地の魅力が十分活かされていると思うので、ぜひ現地にも足を運んでください」などと話した。

タヒチの島々 The Islands of Tahiti ～情熱のタヒチアンダンス～

● 主催：一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)／後援：タヒチ観光局
10月31日(土) 13:00～16:30 ぎのわん海浜公園多目的広場



青空のもと、迫力と情熱を秘めた タヒチアンダンスを鑑賞

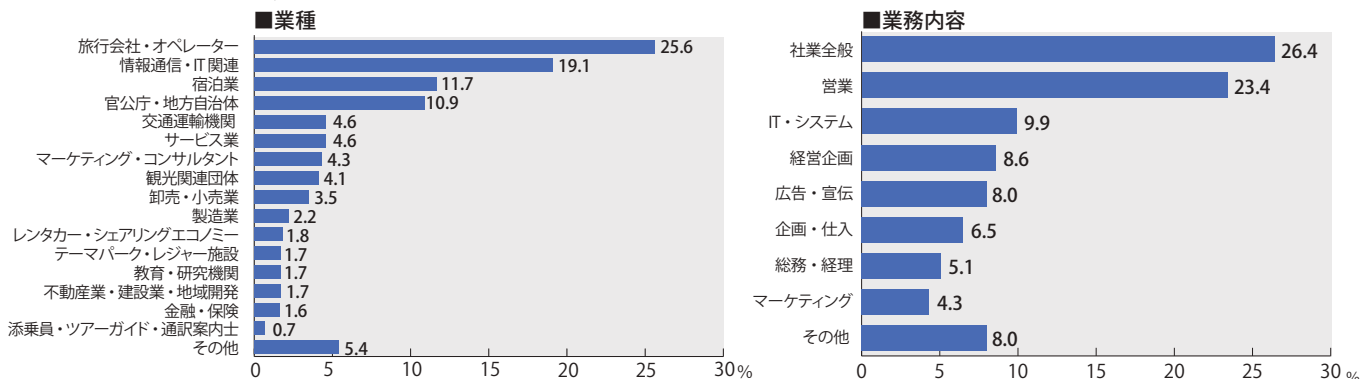
10月31日(土)、タヒチ観光局による「タヒチの島々～情熱のタヒチアンダンス～」が、ぎのわん海浜公園多目的広場の特設ステージで開催された。当日は本場タヒチ出身のプロダンサーに加え、沖縄のタヒチアンダンススクールやクラブに所属する大人から子供までが参加。好天にも恵まれ、南国にふさわしいダンスイベントとなった。

13時に開演された同イベントは、休憩を挟みながら計6演目が上演された。迫力満点のダンスや優雅で情熱あふれるダンス、子供たちのかわいらしいダンスなどを、多くの観客が楽しんだ。

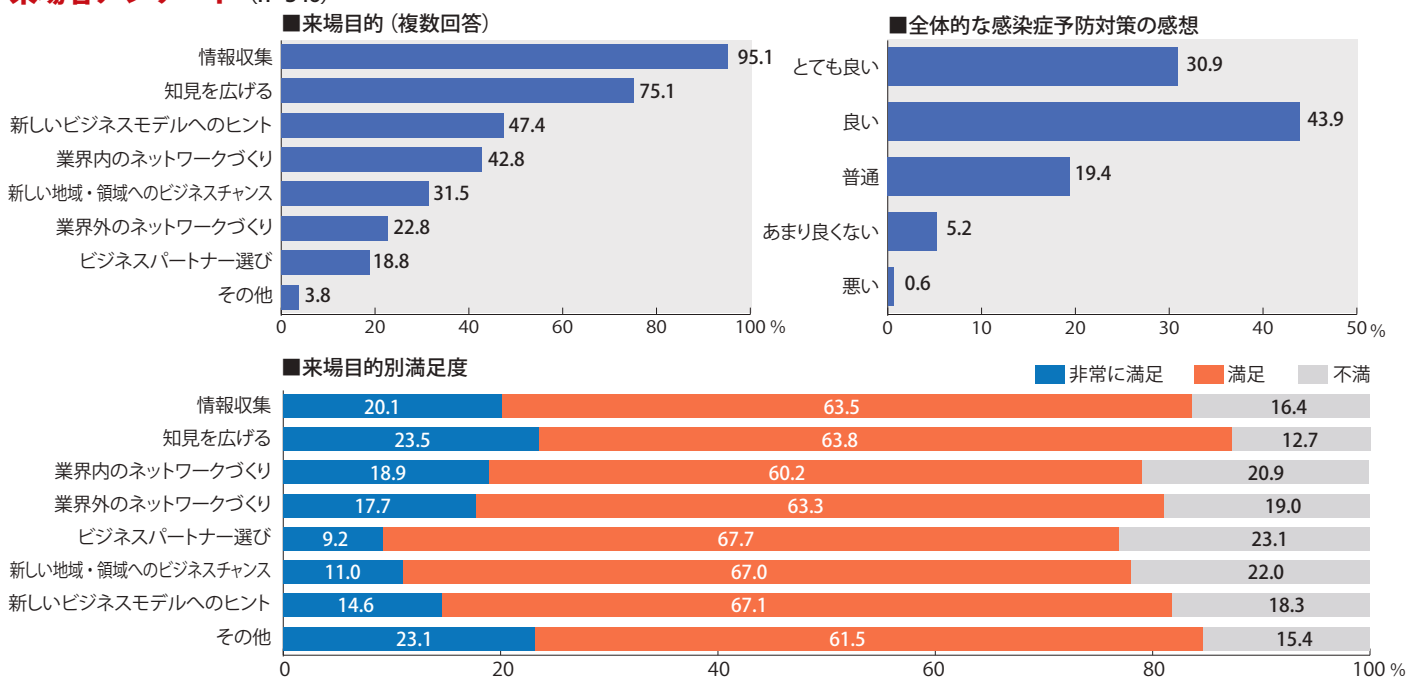
業界来場者／アンケート

来場者の業種は「旅行会社・オペレーター」に加え、「情報通信・IT関連」が目立っており、業務内容でもIT・システム担当者の増加がみられた。来場目的では、「情報収集」「知見を広げる」が突出しているものの、「新しいビジネスモデルへのヒント」「新しい地域・領域へのビジネスチャンス」も増加。感染症予防対策への評価も高く、コロナ禍にあっても、新たなビジネスチャンスを求める姿勢がうかがえる。

来場者登録者集計 (n=1,935)

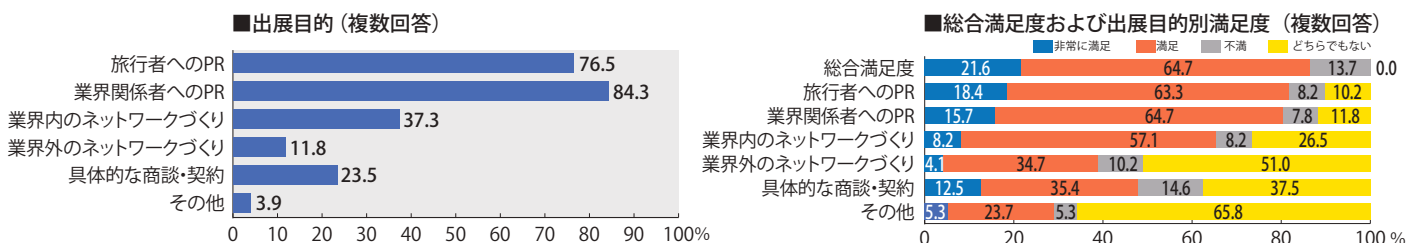


来場者アンケート (n=346)



出展者アンケート

出展目的は「業界関係者へのPR」が8割強、「旅行者へのPR」が8割弱を占めるが、「業界内のネットワークづくり」「具体的な商談・契約」への期待も高い。コロナ禍の下で開催されたイベントとしては、総合満足度、目的別満足度ともに期待に応えられるものとなった。



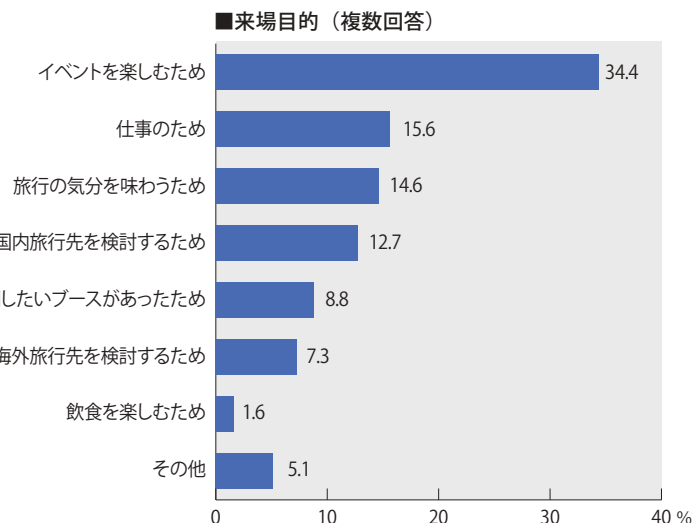
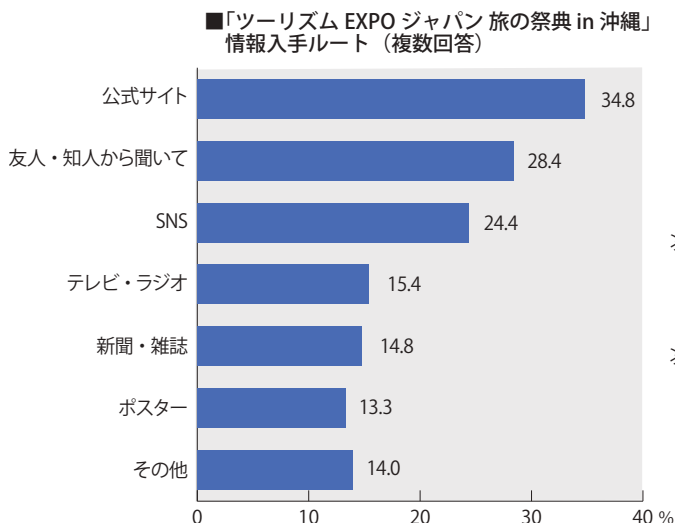
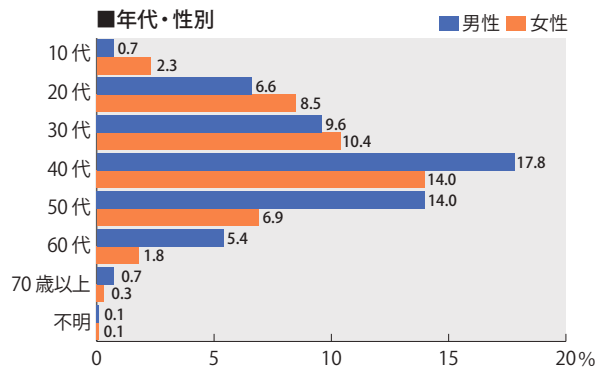
今回の出展で得られた成果

- ・コロナ禍での出展の課題と対策を学ぶことができた。
- ・沖縄の方々へのPRはあまり期待していなかったが、予想以上に一般の来場者が多く、当社を知っていただくきっかけになったと思う。
- ・全体的に見て、今回のTEJとFAMツアーでは、多様化する旅行者ニーズに対して新しいアプローチ方法を探している旅行エージェンツに対して、沖縄の観光ガイドにはない、新しいコンテンツを提案できたと思う。
- ・商談した企業と今後のツアーの構築ができそうである。
- ・一般日においては多くの方にブースを訪れていただき、コロナ禍においても「我が国の魅力は変わらずそこにある」ことをアピールできた。(海外)
- ・2022年オープン観光振興センターのアピールができた。アンケートを取ることで現在の認知度を確認することができ、今後の方策の参考になると思う。
- ・今後の商品化につながるような商談会だった。
- ・弊社のどの施設に関心が高いのかがわかった。
- ・東北と沖縄の連携のため、現地DMOや現地旅行会社のセールスコールを実施することができた。これは、沖縄開催ならではの収穫であったと考えている。
- ・コロナ禍でマーケットが混沌とする中、弊社の出展時のメッセージである「テーマ性の高い、ちょっとディープな島旅」のコンセプトが受け入れられるかを検証することができた。
- ・多くの方にブースに立ち寄っていただき、PRすることができた。インスタグラムのフォロワーが急増した。
- ・国内エージェンツに自社商品をPRすることができた。具体的な問い合わせをいただいているエージェンツの担当者と直接会って、話をするすることができた。

一般来場者アンケート (n=684)

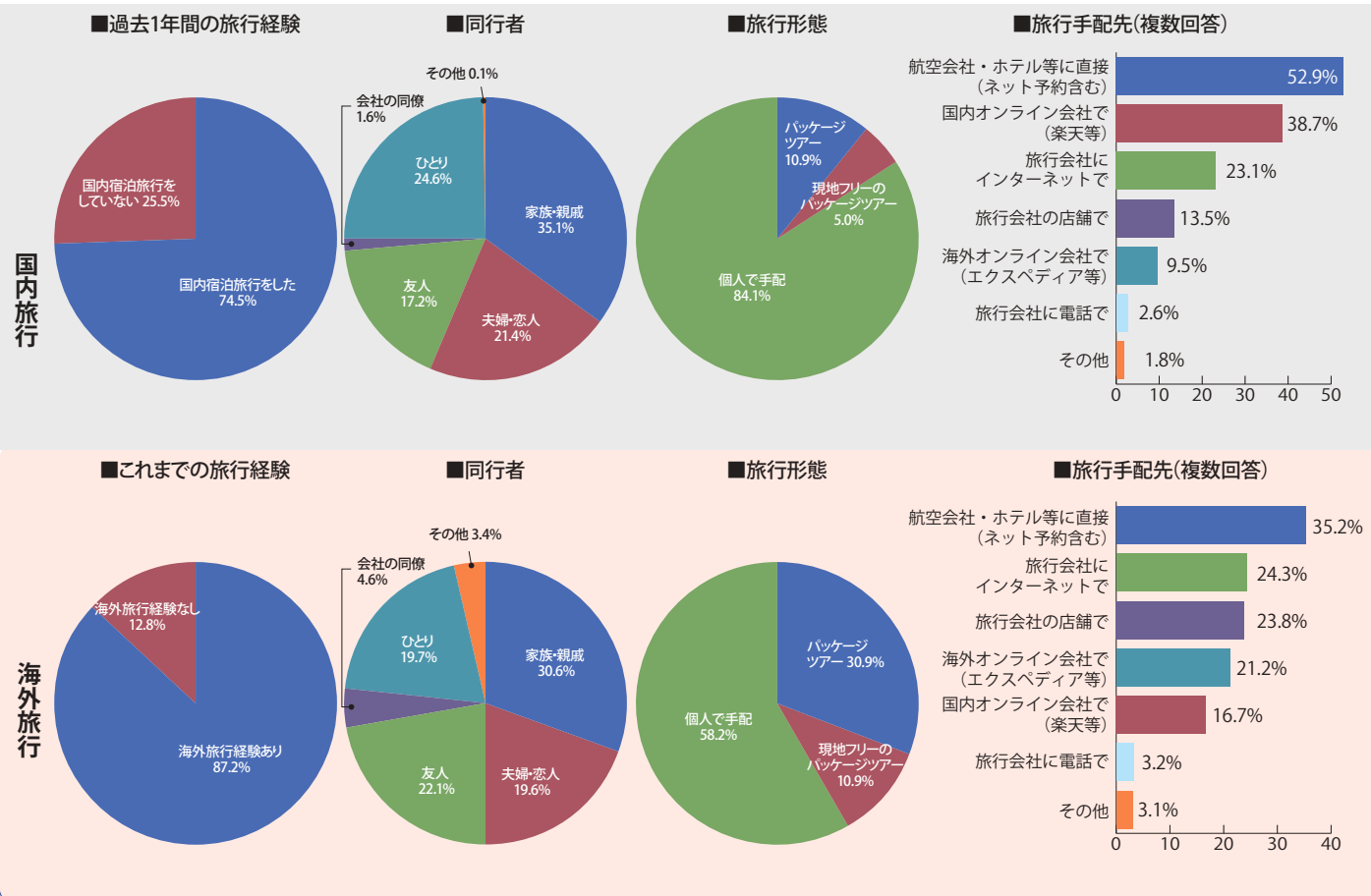
初の沖縄開催となった今回は、公式サイトや口コミ、SNSといったWEBを通じての情報拡散効果が感じられるイベントとなった。来場者の性別は、男性層が55.0%と、初めて男性層が女性層を上回る結果となった(昨年は女性が52.3%)。年代別では40代、50代、30代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」「旅行の気分を味わうため」など、コロナ禍で旅行に制限がある中、イベントで旅行気分を味わいたいという来場者が多かった。

沖縄での初開催となったTEJ2020は、万全な感染症予防対策もあって、沖縄の一般来場者にも「旅の祭典」として認知されたようだ。



一般来場者の旅行動向

全体的に旅行意欲は非常に高く、過去1年間で見ても約75%が国内宿泊旅行を楽しみ、これまでの海外旅行経験者も9割弱となっている。同行者では、国内・海外ともに「ひとり」の割合が増加傾向にある。旅行形態は、国内旅行は「個人手配」が8割強を占め、海外旅行も6割弱が「個人手配」と、個人で手配する旅慣れた来場者が多いことがわかる。旅行手配の方法は、国内・海外ともインターネット予約が大きな割合を占め、ネット環境の普及に伴う手配方法の変化がうかがえる。



「テーマコピー、キービジュアル」

第1ステージ(2014～2016年)、第2ステージ(2017～2018年)を経て、ユーザー目線に立ったパーソナルなアプローチ(BtoC)をさらに進化・強化。沖縄を中心に、一般消費者に「旅のジブンゴト化」をより促すクリエイティブで、『ツーリズムの創造と可能性』を推進した。

私の旅は、次のステージへ。
Take your travel up a notch

クリエイティブコンセプト

コピーおよびビジュアルで、「行かなきゃ感」を後押し。一人ひとりが思い描く、各々の「次の旅・リゾート」を、心の中にイメージできるよう、沖縄の海をはじめとした世界中のリゾート風景をバックに、旅に出かける人物を描き、新たな旅に出会える「予感・期待感」、次に向かう「躍動感」を表現した。また、TEJと初めて遭遇する沖縄の一般の方々に、この催しは、『旅のイベント・祭典』であることをアピールした。



「広報活動」

沖縄主要メディアに向けて、主催者のメッセージ(主催者会見)のポイントや各プログラムの詳細、展示ブースの見どころレター等、取材ポイントごとに、興味を持っていただけそうな媒体・部署・記者へ情報を継続的に発信・アプローチし、TV・新聞・WEBメディアにおける沖縄現地主要メディアの取材を誘致。コロナ禍の開催における万全な安全対策の様子や、展示ブースの記者による体験取材などが露出され、各媒体、一度の露出に留まらず、会期中に多角的かつ継続的に露出することができた。

◆広報活動の成果

取材メディア数: 全151名

総露出数: 766記事/テレビ露出数: 26件

NHK沖縄・沖縄テレビ・琉球放送・琉球朝日放送と沖縄現地TV局(地上波放送)すべてにおいて露出獲得。報道露出が多数で、会見や商談の様子が中心でありながらも、展示ブースの紹介や一般公開日の告知もあり、来場促進にもつながる内容となった。



琉球放送「金曜日のゆうわく」10月30日(金)



琉球放送「JNNニュース」10月30日(金)

新聞・雑誌 露出数: 75件

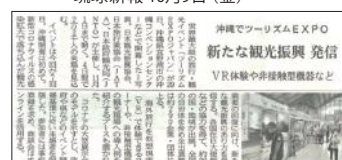
沖縄の新聞社、琉球新報・沖縄タイムスは連日来場し、さまざまなポイント取材。会期初日の取材内容は、2紙ともに、トップ面で掲載となり大型露出となった。2日目以降も、ResorTech Okinawaでのデジタル対談や世界遺産サミットの様子など各プログラムの内容など幅広い切り口で掲載を獲得。日本経済新聞の沖縄/福岡版でも掲載された。



琉球新報 10月9日(金)



沖縄タイムス 10月17日(土)



日本経済新聞(沖縄・福岡) 10月30日(金)



八重山毎日新聞 10月30日(金)

【公式WEB】



■期間/2020年3月1日～11月1日

- ・ページビュー数: 425,259PV
- ・セッション数: 152,108セッション
- ・ユーザー数: 90,449ユーザー

フォロワー

Facebook 27,410

Twitter 2,318

Instagram 4,601

(2020年11月30日現在)

【公式SNS】



NHK「おきなわHOTeye」
「ニュース845沖縄」10月29日(木)



琉球朝日放送「Qプラス」10月29日(木)



琉球放送「RBC ザ・ニュース」
「リポート RBC ザ・ニュース」10月30日(金)



沖縄テレビ放送「FNN Live News days」
11月2日(月)

WEB 露出数: 661件(元記事193件)

新聞社のWEB記事の露出を中心に、圧倒的なPV数を誇るYahoo!ニュースや、47ニュース、オリコンニュースなどの波及力の高い媒体での転載記事を多数獲得。トラベルウォッチの各ブース情報も、Yahoo!ニュースに転載され、PV数に貢献した。また、ResorTech Okinawaについて、親和性の高いASCIIも東京から誘致し、レポート記事が掲載された。



- 1 Yahoo!ニュース(沖縄タイムス転載) 10月9日(金)
- 2 朝日新聞DIGITAL 10月10日(土)
- 3 読売新聞オンライン(Digital PR Platform配信) 10月22日(木)
- 4 NHK NEWS WEB 10月29日(木)

ラジオ 露出数: 4件

会期前の告知として現地ラジオ番組4局から放送された。

【宣伝活動】

沖縄開催地連絡協議会・沖縄開催応援団（P.23参照）をはじめとしたさまざまな団体・企業にご協力いただき、会期前の集中・多面露出展開を図ることができ、来場促進に大きく貢献した。

◆広告ビジュアル（一例）

- 一般来場者用チラシ（A4サイズ）計22,150枚
- 業界来場者用チラシ（A4サイズ）計10,000枚



- 開催告知ポスター（B1サイズ）計1,040枚
- 開催告知ポスター（B3サイズ）計813枚



●CM15秒／30秒

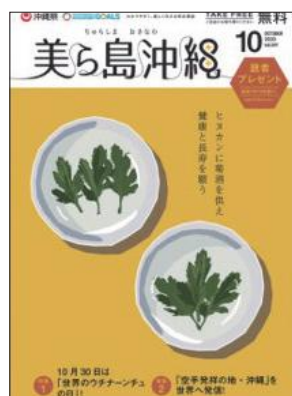


◆屋外・屋内広告／ポスター掲示



◆雑誌

- 日本トランスオーシャン航空機内誌「Coralway 9・10月号」
- 沖縄県工業連合会「工連ニュース 10月号」
- 東洋企画印刷「Porte 7月号」
- 日本航空機内誌「SKYWARD 9月号」
- 全日空機内誌「翼の王国 9月号」
- 沖縄県工業連合会「工連ニュース 10月号」
- 観光とけいざい 10月号
- OCVB News 10月号



沖縄県広報誌「美ら島沖縄10月号」

◆新聞

TEJ 高橋実行委員長×開催地連絡協議会 下地会長 対談記事掲載および記事下広告掲載



沖縄タイムス（10月17日朝刊）



琉球新報（10月17日朝刊）

「TEJ東京商談会／トラベルフェスタ」は、2021年1月7日(木)～1月9日(土)の開催予定であったが、2021年1月2日(土)、1都3県の知事より政府にあてて緊急事態宣言の発出要請がなされ4日(月)に検討に入ったことを受け、同日付で「トラベルフェスタ」についてはすべての中止を決定、「TEJ東京商談会」については合同開催の「JNTOインバウンド商談会」とともにオンラインでの商談に移行した。また、「JNTOインバウンドセミナー」は、オンラインにて実施されることとなった。

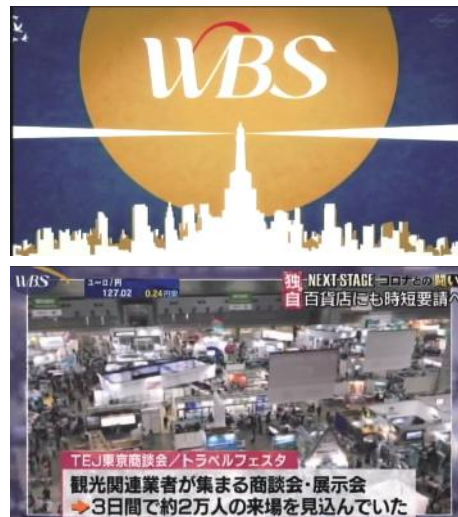


TEJ東京商談会／JNTOインバウンドオンライン商談会

開催日：2021年1月7日(木)・1月8日(金)
 会場：オンライン商談のみ
 主催：公益社団法人日本観光振興協会 (JTJA)
 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)
 日本政府観光局 (JNTO)
 特別協力：一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)
 合同開催：JNTOインバウンドセミナー 1月7日(木)
 JNTOインバウンドオンライン商談会 1月7日(木)・8日(金)

TEJ東京商談会／JNTOインバウンドオンライン商談会

- 出展都道府県数／国数：国内44道府県と、海外22カ国・地域の情報提供
- 出展企業・団体数：355企業・団体
 <内訳>海外：80 国内：137 その他：138
- バイヤー：272名
 (うち、訪日を取り扱う海外バイヤー59名、メディアバイヤー17名)
- セラー：327名
- 事前マッチング数：3,054件



テレビ東京「ワールドビジネスサテライト (WBS)」
 (2021年1月6日)

2021年1月7日(木) 14:00～16:00

JNTOインバウンドセミナー

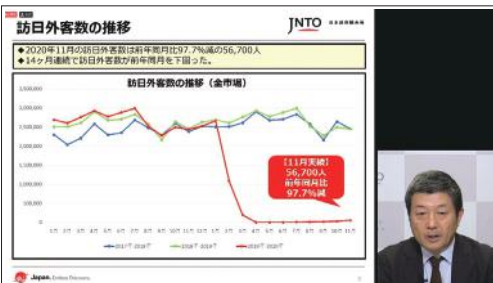
● 主催：日本政府観光局 (JNTO)

コロナ禍における各国のインバウンドプロモーション事例を紹介

日本政府観光局 (JNTO) は、「コロナ禍におけるインバウンドプロモーション」をテーマにオンラインセミナーを開催した。

まず、伊東氏が「コロナ禍におけるJNTOの取り組み」をテーマに講演。JNTO全体で行っている取り組みの説明とともに、JNTO市場横断プロモーション部で取り組んでいる東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みやテーマ別の取り組みを紹介した。

続いてJNTOロサンゼルス事務所所長の庄司氏、JNTOシドニー事務所所長の田中氏から、各国の最新状況とプロモーション事例が共有された。質疑応答では、視聴者から寄せられた質問に対し、各海外事務所所長から現地の状況に応じた回答がなされた。



講演の様子

【登壇者】(すべてオンライン中継)

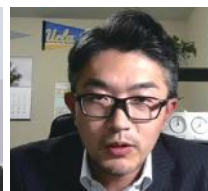
伊東 和宏氏 (日本政府観光局 [JNTO] 市場横断プロモーション部 部長)

庄司 郁氏 (日本政府観光局 [JNTO] ロサンゼルス事務所 所長)

田中 陽子氏 (日本政府観光局 [JNTO] シドニー事務所 所長)



伊東 和宏氏



庄司 郁氏



田中 陽子氏

運営／協賛・協力機関団体リスト

組織委員会

<委員長>

山西 健一郎 公益社団法人日本観光振興協会 会長

<副委員長>

坂巻 智昭 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 会長
清野 伸 日本政府観光局 (JNTO) 理事長
高橋 広行 ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長
一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長

<委員>

石嶺 伝一郎 沖縄県商工会議所連合会 会長
伊東 信一郎 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
ANAホールディングス株式会社 取締役会長
植木 義晴 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
日本航空株式会社 取締役会長
岡崎 正明 株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員
小島 徹 東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
蒲生 篤実 観光庁 長官
菊間 潤吾 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長
株式会社ワールド航空サービス 代表取締役会長
後藤 高志 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
株式会社西武ホールディングス 代表取締役社長

小林 節 一般社団法人日本ホテル協会 会長
菰田 正信 一般社団法人日本経済団体連合会 観光委員長
三井不動産株式会社 代表取締役社長
近藤 幸二 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA) 副会長
阪本 未来子 東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員
下地 芳郎 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長
鈴木 大地 スポーツ庁 長官
高橋 亨 BOAR (在日航空会社代表者協議会) 運営委員会理事
ユナイテッド航空会社

日本・ミクロネシア地区営業担当 支社長
富田 哲郎 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長

鳥居 敏男 環境省 自然環境局長
畠山 陽二郎 経済産業省 商務・サービス審議官
浜野 浩二 一般社団法人日本旅館協会 会長
フレデリック・マゼンク 駐日外国政府観光局協議会 会長
フランス観光開発機構 在日代表
堀坂 明弘 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長
株式会社日本旅行 代表取締役社長 兼 執行役員
宮田 亮平 文化庁 長官
村松 明典 東京都産業労働局 局長
山北 栄二郎 株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員
和田林 道宜 一般社団法人日本民営鉄道協会 会長
近畿日本鉄道株式会社 代表取締役会長

<監事>

高濱 剛司 ANAホールディングス株式会社
グループ監査部 担当部長
田中 正人 田中正人税理士事務所 税理士事務所所長

実行委員会

<委員長>

高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 副会長

<副委員長>

久保田 稯 公益社団法人日本観光振興協会 理事長
吉田 晶子 日本政府観光局 (JNTO) 理事長代理

<特別顧問>

本保 芳明 国連世界観光機関駐日事務所 代表

<委員>

五十嵐 克也 日本商工会議所 地域振興部長
五十嵐 徹人 観光庁 審議官
今泉 典彦 一般社団法人日本経済団体連合会
観光委員会 企画部 会長
株式会社第一生命経済研究所 代表取締役副社長
スポーツ庁 スポーツ総括官
遠藤 克己 日本政府観光局 (JNTO) 理事
遠藤 修一 株式会社JTB 執行役員 個人事業本部
海外仕入商品事業部長
木俣 豊 グローバルコミュニケーション開発推進協議会
事務局代表
黒田 英朗 東日本旅客鉄道株式会社 観光戦略室 室長
志村 格 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 理事長
鈴木 昭久 公益社団法人日本観光振興協会 副理事長
瀬川 靖 東武トップツアーズ株式会社 国内旅行部長
平良 朝敬 一般社団法人沖縄県ホテル協会 会長
田中 将史 KNT-CTホールディングス株式会社
グローバル戦略部長
檀原 徹典 株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長
出倉 功一 文化庁 審議官
富田 光欧 全日本空輸株式会社 上席執行役員
マーケティング室長 アジア・オセアニア担当
中島 尚子 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室
室長
中野 星子 日本航空株式会社 執行役員
旅客販売統括本部 本部長
東 良和 沖縄ツーリスト株式会社 代表取締役会長 & CEO

松本 明子 東京都産業労働局 観光部長
三好 一弘 株式会社日本旅行 執行役員 営業企画本部 企画・開発
部長 兼 地方創生推進本部長
目島 恵弘 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
事務局長
與座 嘉博 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 沖縄支部 支部長
渡邊 康洋 桜美林大学大学院 ビジネスマネジメント学群 ビジネス
マネジメント学類 教授

ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄 開催地連絡協議会

<会長>

下地 芳郎 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長

<副会長>

與座 嘉博 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 沖縄支部 支部長
崎山 喜孝 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA) 沖縄支部 支部長
宮里 一郎 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長
平良 朝敬 一般社団法人日本ホテル協会 沖縄支部 支部長
一般社団法人沖縄県ホテル協会 会長

<委員>

米山 茂 内閣府沖縄総合事務局 運輸部 部長
渡久地 一浩 沖縄県 文化観光スポーツ部 部長
国古 孝博 宜野湾市 市民経済部 部長
金城 克也 一般社団法人沖縄県経営者協会 会長
洲辺 美紀 沖縄経済同友会 代表幹事
石嶺 伝一郎 沖縄県商工会議所連合会 会長
米須 義明 沖縄県商工会連合会 会長
内田 晴長 一般社団法人美ら島観光施設協会 会長
花城 良廣 一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長
杉本 健次 一般社団法人ジャパニョビングツーリズム協会
沖縄支部 支部長

小川 義昭 一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会 代表理事
親川 修 特定非営利活動法人バリアフリーネットワーク会議
理事長

東 良和 沖縄県ユネスコ協会 会長
東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 会長
小川 吾吉 一般社団法人沖縄県バス協会 会長
白石 武博 一般社団法人沖縄県レンタカー協会 会長
美里 義雅 沖縄都市モノレール株式会社 代表取締役社長
井口 治 全日本空輸株式会社 沖縄支社 支社長
佐々木 茂枝 日本航空株式会社 沖縄支店 支店長
青木 紀将 日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長
早崎 秀華 那覇空港国際線航空会社連絡会 代表幹事
安里 昌利 那覇空港ビルディング株式会社 代表取締役社長
末吉 康敏 公益財団法人沖縄県産業振興公社 理事長
湧川 盛順 株式会社沖縄県物産公社 代表取締役社長
連天 修 公益財団法人沖縄県畜産振興公社 理事長
佐久本 学 沖縄県酒造組合 会長
永井 義人 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
専務理事
普天間 朝重 沖縄県農業協同組合 代表理事 理事長

ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄 開催応援団

<団長>

富川 盛武 沖縄県 副知事

<副団長>

城間 幹子 那覇市 市長
松川 正則 宜野湾市 市長
金城 克也 一般社団法人沖縄県経営者協会 会長
洲辺 美紀 沖縄経済同友会 代表幹事
石嶺 伝一郎 沖縄県商工会議所連合会 会長

<団員>

吉住 啓作 内閣府沖縄総合事務局 局長
中山 義隆 石垣市 市長
松本 哲治 浦添市 市長
渡具知 武豊 名護市 市長
當銘 真栄 糸満市 市長
桑江 朝千夫 沖縄市 市長
山川 仁 豊見城市 市長
島袋 俊夫 うるま市 市長
下地 敏彦 宮古島市 市長
瑞慶覧 長敏 南城市 市長
宮城 功光 大宜味村 村長
當山 全伸 東村 村長
平良 武康 本部町 町長
長浜 善巳 恩納村 村長
當眞 淳 宜野座村 村長
仲間 一 金武町 町長
島袋 秀幸 伊江村 村長
當山 宏 嘉手納町 町長
野国 昌春 北谷町 町長
新垣 邦男 北中城村 村長
上間 明 西原町 町長
照屋 勉 与那原町 町長
赤嶺 正之 南風原町 町長
座間味 秀勝 渡嘉敷村 村長
宮里 哲 座間味村 村長
伊礼 幸雄 伊平屋村 村長
前田 政義 伊是名村 村長
大田 治雄 久米島町 町長

【イベント名称】 ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄

Tourism EXPO Japan in Okinawa Business Meetings & Exhibition

【主 催】 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)

新垣 安弘 八重瀬町 町長
伊良皆 光夫 多良間村 村長
西大舩 高司 竹富町 町長
下地 芳郎 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長
永井 義人 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
専務理事
連天 修 公益財団法人沖縄県畜産振興公社 理事長
末吉 康敏 公益財団法人沖縄県産業振興公社 理事長
湧川 盛順 株式会社沖縄県物産公社 代表取締役社長
與座 嘉博 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 沖縄支部 支部長
崎山 喜孝 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA) 沖縄支部 支部長
宮里 一郎 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長
平良 朝敬 一般社団法人日本ホテル協会 沖縄支部 支部長
一般社団法人沖縄県ホテル協会 会長
内田 晴長 一般社団法人美ら島観光施設協会 会長
花城 良廣 一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長
杉本 健次 一般社団法人ジャパニョビングツーリズム協会
沖縄支部 支部長

小川 義昭 一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会 代表理事
東江 一成 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 会長
小川 吾吉 一般社団法人沖縄県バス協会 会長
白石 武博 一般社団法人沖縄県レンタカー協会 会長
美里 義雅 沖縄都市モノレール株式会社 代表取締役社長
井口 治 全日本空輸株式会社 沖縄支社 支社長
佐々木 政茂 日本航空株式会社 沖縄支店 支店長
青木 紀将 日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長
早崎 秀華 那覇空港国際線航空会社連絡会 代表幹事
安里 昌利 那覇空港ビルディング株式会社 代表取締役社長
米須 義明 沖縄県商工会連合会 会長
島袋 武 沖縄県中小企業団体中央会 会長
眞栄田 一郎 沖縄県中小企業家同友会 代表理事
知念 克也 沖縄県情報通信関連産業団体連合会 会長
我謝 育則 公益社団法人沖縄県工業連合会 専務理事
津波 達也 一般社団法人沖縄県建設産業団体連合会 会長
佐久本 学 沖縄県酒造組合 会長
普天間 朝重 沖縄県農業協同組合 代表理事 理事長
上原 竜一 沖縄県漁業協同組合連合会 代表理事会長
西澤 裕介 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)
沖縄貿易情報センター 所長

親川 修 特定非営利活動法人バリアフリーネットワーク会議
理事長

東 良和 沖縄県ユネスコ協会 会長
瑞慶覧 長行 公益財団法人沖縄県スポーツ協会 理事長
又吉 陸人 公益財団法人沖縄県文化振興会 理事長
西田 民 一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 代表理事
大庭 憲 一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会 会長
武富 和彦 株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長
坂名城 泰山 株式会社琉球新報社 代表取締役社長
久保田 憲二 沖縄テレビ放送株式会社 代表取締役社長
上原 直樹 琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長
嘉手川 幹也 琉球放送株式会社 取締役 テレビ本部テレビ営業局長
長濱 弘真 株式会社エフエム沖縄 代表取締役社長
森田 明 株式会社ラジオ沖縄 取締役相談役

【特別協力】 一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)

【特別賛助】 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

【開催支援】 沖縄開催地連絡協議会、沖縄開催応援団

【後 援】 国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポー
ツ庁、文化庁、農林水産省、経済産業省、環境省、沖縄県、那覇市、宜
野湾市、独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)、一般社団法人
日本経済団体連合会、沖縄経済同友会、日本商工会議所、東京商工
会議所、沖縄県商工会議所連合会、一般社団法人沖縄県経営者協会

【企画・運営】 ツーリズムEXPOジャパン推進室

【特別協賛】 株式会社ジェーシービー

【事業別協賛】

●展示商談会

シルバースポンサー：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、日本
空港ビルディング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社
ブロンズスポンサー：グアム政府観光局、東京海上日動火災保険株
式会社、大塚製薬株式会社、株式会社伊藤園
賛助協賛：東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日
本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株
式会社、九州旅客鉄道株式会社

●OKINAWA NIGHT

シルバースパートナー：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社
ブロンズパートナー：株式会社伊藤園

●VIPバスストラップ協賛

株式会社旅行綜研

【リージョナルスベシャルパートナー】

ゴールドパートナー：那覇空港ビルディング株式会社、沖縄電力株式
会社

シルバースパートナー：JTB旅館ホテル連盟沖縄支部連合会、KNT-CT
パートナーズ会沖縄連合会、日本旅行協定旅館ホテル連盟沖縄支部
連合会、東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟沖縄支部

ブロンズパートナー：株式会社沖縄銀行、株式会社琉球銀行、株式
会社ジェイシーシー、一般社団法人沖縄レンタカー協会、イオンモ
ール沖縄ライカム、一般社団法人沖縄県ホテル協会、沖縄県ホテル旅
館生活衛生同業組合、株式会社OTSサービス経営研究所

(※順不同)
(2020年9月30日現在)

観光ビジネスに関わる情報と関係者が集結する総合観光イベント



ツーリズムEXPOジャパン 2021 OSAKA

「ツーリズムEXPOジャパン2021 大阪・関西」出展申込受付中！

2021年 **11/25^木 - 11/28^日**

「ツーリズムEXPOジャパン」は、ニューノーマル時代において旅のチカラで日本そして世界を元気にするイベントとして、2019年に続き、大阪・関西で開催。2025年に国際博覧会（万博）が開催される大阪・関西から観光産業の復活を世界に発信します。

会場／インテックス大阪および周辺施設

主催／公益社団法人日本観光振興協会（JTТА）、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）

合同開催／VISIT JAPANトラベル&MICE マート（VJTM）2021

併催／トラベルDXソリューション展（仮称）

ツーリズムEXPO ジャパンに出展する5つの“メリット”

- 1 西日本の玄関口、関西3空港などを擁する大規模商圏であり、国内旅行・海外旅行・訪日インバウンドの質の高い商談が可能
- 2 近畿圏のみならず、首都圏・関東エリアを含む全国から旅行会社バイヤー（2019年実績：645社）が参加、2日間、事前マッチングによる商談会が可能
- 3 展示商談会で直接交流によるリアルの商談に加え、インターネットを介したオンラインによる商談機会も提供され、出展ニーズに合わせた選択肢が充実
- 4 Withコロナ時代を背景に、新しい旅のスタイルに関西圏の一般来場者に直接アピールできる絶好の機会（来場予想10万人）
- 5 日本政府観光局が主催する「VISIT JAPANトラベル&MICE マート（VJTM）2021」と合同開催。訪日バイヤーへ観光素材・商材を直接アピールができる機会

出展料

	基礎小間	スペース（敷地のみ）
早割申込期限 2021年 3月31日（水）	¥460,000（税別）／小間（9㎡）	¥414,000（税別）／小間（9㎡）
通常申込期限 2021年 7月31日（土）	¥500,000（税別）／小間（9㎡）	¥450,000（税別）／小間（9㎡）

※2020年度出展特別割引制度（沖縄・東京とみにご出展頂いた場合15%割引、沖縄・東京どちらかにご出展頂いた場合10%割引）と、早期割引制度（早割）の併用はできません。

お申し込み、各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

<https://t-expo.jp>

【問合せ先】ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄 出展者リスト

2020 年 10 月 15 日現在

ブースNO.	ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典 in 沖縄 出展者リスト
A	海外
A-01	Philippines
	・Amorita Resort
	・Bluewater Resorts
	・Bohol Beach Club
	・Marco Polo Cebu
	・The Bellevue Resort Bohol
A-03	タヒチ観光局
A-04	国際機関 太平洋諸島センター
	・バヌアツ観光局
A-05	パラオ政府観光局
	・インバックツアーズ
	・パラオスポートツアーズ
A-06	オーストラリア政府観光局
A-09	韓国観光公社
A-11	スペイン政府観光局
A-12	ヒーローットジャパン
A-13	ポーランド政府観光局
A-14	中国観光代表処
	・北京市文化観光局
	・四川省文化観光庁
	・安徽省文化観光庁
	・陝西省文化観光庁
	・貴州省文化観光庁
	・江蘇省文化観光庁
	・山東省文化観光庁
	・上海市文化観光局
A-17	タイ国政府観光庁
	・エーベックス インターナショナル
	・アティックツアーズ
	・ジェイティエイジャパン
	・エス・エム・アイトラベルジャパン
	・サザンクロスインターナショナル
A-18	台湾観光協会大阪事務所
A-21	ウガンダ共和国大使館
A-23	ケニア共和国大使館
A-24	駐日アンゴラ共和国大使館
B	国内
B-01	一般社団法人九州観光推進機構
	・福岡県・福岡県観光連盟
	・公益社団法人 熊本県観光連盟
	・公益財団法人宮崎県観光協会
	・長崎県
	・大分県
	・一般社団法人 佐賀県観光連盟
B-02	一般社団法人 嬉野温泉観光協会
B-03	鹿児島県
B-03	一般社団法人 奄美群島観光物産協会
	・奄美大島
	・奄美せとうち観光協会
	・一般社団法人あまみ大島観光物産連盟
	・あまみシマ博覧会事務局
	・喜界島観光物産協会
	・一般社団法人おきのえらぶ島観光協会
	・一般社団法人徳之島観光連盟
	・一般社団法人ヨロン島観光協会
B-04	阿蘇くじゅう観光圏
B-07	大歩危・祖谷温泉郷
B-08	UNDISCOVERED JAPAN にし阿波～剣山・吉野川観光圏
B-09	JW Marriott・ホテル奈良
B-10	淡路島洲本市
B-11	奈良県
B-12	一般社団法人山陰インバウンド機構
B-13	一般社団法人 しまなみジャパン
B-14	一般社団法人 全国旅行業協会
B-15	長野県
	・日本アルプス観光連盟
	・木曽観光連盟
	・公益財団法人ながの観光コンベンション ビューロー

	・一般社団法人 長野伊那谷観光局
	・大系線ゆう浪漫委員会
	・株式会社 南信州観光公社
	・山ノ内町
B-16	静岡県
	・公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズム ビューロー
	・一般社団法人美しい伊豆創造センター
	・富士山静岡空港株式会社
B-18	別府市
B-19	鹿沼商工会議所
	・古峯神社
	・鹿沼市花木センター
	・かぬま里山ワイン
B-20	一般社団法人 東北観光推進機構
	・秋田県
	・青森県
	・福島県
	・岩手県
	・山形県
B-21	「新潟県・庄内エリアDC」推進協議会
	・庄内観光コンベンション協会
B-22	福島県
B-23	鯉ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会
B-24	Withコロナ時代の新しい旅のエチケット 紹介ブース
C	関連企業・団体
C-02	スポーツ庁
C-08	ヴォックス ジャパン
C-09	共立リゾート & ドーミーイン
C-10	株式会社百戦錬磨 (STAY JAPAN)
C-12	株式会社ブランジスタメディア
C-15	株式会社グッドフェローズJTB
C-23	株式会社VIPグローバル
C-25	シャヤハタ株式会社
C-26	株式会社ポイント
C-28	株式会社日本旅行
C-31	株式会社 阪急交通社
C-32	KNT-CT ホールディングス株式会社
C-33	東武トップツアーズ株式会社
C-35	名鉄観光サービス株式会社
C-36	日本アドベンチャーツーリズム協議会
C-37	環境省 自然環境局 国立公園課 国立公 園利用推進室
	・奄美群島国立公園
	・阿蘇ジオパーク推進協議会
	・下呂市エコツーリズム推進協議会
	・西表石垣国立公園
	・愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会
	・慶良間諸島国立公園
	・串間エコツーリズム推進協議会
	・南丹市美山エコツーリズム推進協議会
	・鳥羽市エコツーリズム推進協議会
	・やんばる国立公園
C-38	東急ホテルズ
C-39	一般社団法人JARTA
C-40	株式会社ミックウェア
OU	沖縄県内
OU-01	JTB
OU-02	沖縄ツーリスト株式会社
OU-04	一般社団法人沖縄県レンタカー協会
OU-05	一般財団法人沖縄観光コンベンション ビューロー
	・一般財団法人沖縄観光コンベンション ビューロー (国内プロモーション課)
	・一般財団法人沖縄観光コンベンション ビューロー (海外プロモーション課)
	・一般財団法人沖縄観光コンベンション ビューロー (旧海軍司令部壕／ペセナ海 中公園)
OU-06	株式会社こころ
OU-07	グランヴィリオリゾート石垣島
OU-08	沖縄逸の彩 RESORT & HOT SPRING HOTEL
	・沖縄逸の彩ホテル

OU-09	株式会社国際旅行社
OU-14	沖縄MICEサービス
OU-15	株式会社ツアーバンクシステム・株式会社 沖縄 プライムカラー
OU-24	島ぜんぶでおーきな祭 沖縄国際映画祭/ やんばるアートフェスティバル
	・やんばるアートフェスティバル
OU-25	Sharee (シェアリー)
OU-26	リゾートベビーシッターサービス ワール ドキッズ
OU-28	一般社団法人ジャパニョショッピングツーリ ズム協会 沖縄支部
OU-29	株式会社トリムライフインターナショナル
OU-30	一般社団法人 トータルウェルネスプロジェ クトオキナワ
OC	沖縄県内
OC-01	株式会社かりゆし
OC-02	ホテル沖縄 with サンリオキャラクターズ
OC-03	KPG ホテル & リゾート
OC-04	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
OC-05	株式会社ジャンボツアーズ
OC-06	一般社団法人 美ら島観光施設協会
OC-07	一般財団法人沖縄美ら島財団
OC-08	ANA(全日本空輸株式会社)
OC-08	ANAセルス株式会社
OC-09	モアナレタカ宮古島
OC-10	みやこじまにあー ー宮古島インバウンド受入民間 協議会
OC-12	しろう農園株式会社
OC-13	JALグループ
	・日本航空株式会社
	・日本トランスオージェン航空株式会社
	・株式会社ジャパパック
	・株式会社JALJTAセルス
OC-14	沖縄県酒造組合
OC-14	公共路線バスによる沖縄・日本遺産周遊体験ツー リズム
OC-15	東南植物楽園
OC-16	沖縄アリーナ
OC-17	琉球ホテル&リゾート 名城ビーチ
OC-18	ホテル コレクティブ
OC-19	那覇空港拡張整備促進連盟
OC-20	沖縄県商工会議所連合会
OC-23	八重山諸島(石垣市・竹富町・与那国町)
OC-24	石垣島ビーチホテルサンシャイン
OC-25	株式会社由布島
OC-26	やまねこツアーズ
OC-27	一般財団法人 竹富島地域自然資産財団
OC-29	沖縄県地域ビジネス力育成強化事業
	・うぶあがり島地域資源活性化観光推進プロジェクト (沖縄県北大東村)
	・名護の魅力をつなげるまち元気プロジェクト (沖縄県名護市)
	・恩納村リゾートウェディング活用地場産業活性 化事業 (沖縄県恩納村)
	・美と健康と賑わいのサンライズタウンプロジェクト (沖縄県与那原町)
OC-30	一般社団法人 金武町観光協会
OC-31	北中城村観光協会
OC-32	宜野湾市商工会
OC-33	沖縄県グリーンツーリズムネットワーク
OC-34	糸満市／一般社団法人糸満市観光協会
OC-35	那覇市
	・那覇市観光協会
OC-36	那覇空港ビルディング株式会社
OC-37	株式会社シーサー
OC-38	座間味村
OC-39	渡嘉敷村
OC-40	一般社団法人 南城市観光協会
	・イーストホームタウン沖縄株式会社
OC-41	北谷町
OC-42	久米島町
OC-43	一般社団法人伊江島観光協会
OC-44	沖縄県 龍島観光・交流促進事業 島あっちい
	・西表島【西部地区】(島あっちい)

	・黒島 (島あっちい)
	・南大東島 (島あっちい)
OC-45	国頭村
OC-46	沖縄どきどきツアーズ
OC-47	大宜味村観光協会
OC-48	沖縄の伝統的な食文化～沖縄食文化保存・普 及・継承事業～
OC-49	うるま市
OC-50	浦添市
OC-51	国立劇場おきなわ
OC-52	空手発祥の地・沖縄
OC-53	豊見城市
OC-54	イーアス沖縄豊崎 / 沖縄アウトレットモール あしびなー
	・沖縄アウトレットモールあしびなー
OC-56	～癒しの大自然～やんばる観光
OC-57	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
OC-58	安全・安心なMICE-IT技術を使ったコロナ対策～
Online	オンライン商談
Online1	グアム政府観光局
Online2	グアム政府観光局
Online3	The Tsubaki Tower
Online4	The Westin Resort Guam
Online5	HYATT REGENCY GUAM
Online6	Pacific Island Holidays, LLC.
Online7	Holiday Tours Micronesia (Guam), Inc.
Online8	Hilton Guam Resort & Spa

ブースNO.	ResorTech2020 出展者リスト
P-01	株式会社ゴールドバリュークリエーション 株式会社ユナイテッドコーポレーション
P-02	株式会社カヌバペイリゾート
P-03	トヨタコネクティッド株式会社
P-04	沖縄クロス・ヘッド&ロゼッタ
P-05	株式会社沖縄銀行
G-01	株式会社NTTドコモ
G-02	西日本電信電話株式会社
G-03	NTTコミュニケーションズ株式会社
G-04	株式会社リクルートライフスタイル沖縄
G-05	アビームコンサルティング株式会社
G-06	沖縄電力株式会社/沖電グローバルシステムズ株式 会社/ファーストライディングテクノロジー株式会社
G-07	内閣府沖縄総合事務局
G-08	一般社団法人 宿泊施設開発連協会(JARC)
G-09	トランス・コスモス株式会社
R-01	株式会社ナレッジクリエイションテクノロジー
R-02	TRUSTYOU(トラストユー)
R-03	株式会社スタジアム
R-04	沖縄通信ネットワーク株式会社
R-05	FXC株式会社
R-06	株式会社OCC
R-07	トラストコミュニケーション株式会社
R-08	株式会社ダイコホールディングスグループ
R-09	株式会社あしびかんぱにー
R-10	有限会社エヌ・ユー・エス
R-11	エコツアーボ合同会社
R-12	株式会社フィールドトラスト
R-13	アイム・ヴ株式会社 / 沖縄ツーリスト株式会社 / 株式会社デンソーテン / 株式会社OTSサービ ス経営研究所
R-14	株式会社アルク
R-15	OTTOPI(Okinawa Transit and Tourism OpenData Platform)
R-16	株式会社LIT
R-17	POPCHAT株式会社
R-18	ニューノーマル
R-19	株式会社okicom
R-20	沖縄地理情報システム協議会(沖縄GIS協議会)
R-21	アドバンテック株式会社
R-22	パシフィックハイウェイジャパン合同会社
R-23	株式会社エー・アール・シー
R-24	沖縄県
R-25	一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター

Tourism EXPO Japan in Okinawa Business Meetings & Exhibition EXHIBITOR'S LIST as of Oct. 15, 2020

Booth NO.	Tourism EXPO Japan Okinawa Business Meetings & Exhibition EXHIBITOR'S LIST
A	Overseas
A-01	Philippines
	- Amorita Resort - Bluewater Resorts - Bohol Beach Club - Marco Polo Cebu - The Bellevue Resort Bohol
A-03	Tahiti Tourisme
A-04	Pacific Islands Centre
	Vanuatu Tourism Office
A-05	Palau Visitors Authority
	- IMPAC Tours - Palau Sport
A-06	Tourism Australia
A-09	Korea Tourism Organization
A-11	Tourist Office of Spain
A-12	Pieroth Japan
A-13	POLISH NATIONAL TOURISM OFFICE
A-14	China National tourist Office
	- Beijing Municipal Bureau of Culture and Tourism - Culture & Tourism Department of Sichuan Province - Department of Culture and Tourism of Anhui Province - Department of Culture and Tourism of Shaanxi Province - Guizhou Provincial Department of Culture and Tourism - Jiangsu Provincial Department of Culture and Tourism++ - Shandong Provincial Department of Culture and Tourism - Shanghai Municipal Administration of Culture and Tourism
A-17	Tourism Authority of Thailand
	- APEX International - ATTIC Tours - JTA Japan - S.M.I. Travel Japan - Southern Cross International
A-18	Taiwan Visitors Association
A-21	Embassy of the Republic of Uganda
A-23	Embassy of the Republic of Kenya
A-24	EMBASSY OF THE REPUBLIC OF ANGOLA
B	Japan
B-01	Kyushu Tourism Promotion Organization
	- Fukuoka Prefecture - Kumamoto Prefectural Tourism Federation - MIYAZAKI PREFECTURE TOURISM ASSOCIATION - Nagasaki Prefecture - Oita Prefecture Government - Saga Prefectural Tourism Federation
B-02	Ureshino Onsen Tourism Association
B-03	KAGOSHIMA
B-03	Amami archipelago Tourism and Products Association
	- Amami Island - Amami setouchi Tourism Association - Amami Tourism & Products Federation - Experience Tour Exhibitions on the Amami Island office - Kikajima Tourism & Product Association - Okinoerabu Island Tourism Association - Tokunoshima Tourism Organization - Yoron Tourism Association
B-04	Aso-Kuju kankouken
B-07	Oboke-Iya Onsenkyo
B-08	Iya-Valley & Other Wonders, Tokushima, Shikoku
B-09	JW Marriott Hotel Nara
B-10	Sumoto
B-11	Nara Prefecture Government
B-12	San'in Tourism Organization
B-13	SHIMANAMI JAPAN
B-14	All Nippon Travel Agents Association

B-15	Nagano Prefecture
	- Japan Alps Tourism Association - Kiso Tourist Federation - NAGANO CONVENTION VISITORS & BUREAU - Nagano Ina Valley Tourism Bureau - oitosenyuromaniinnkai - Southern Shinshu Tourism Bureau - yamanouchi town
B-16	SHIZUOKA PREFECTURE
	- Hamamatsu & Lake Hamana Tourism Bureau - Izu-peninsula Tourist Bureau - Mt. FUJI SHIZUOKA AIRPORT
B-18	Beppu City
B-19	Kanuma Chamber of Commerce and Industry
	- FURUMINE-JINJYA Shrine - Kanuma City KABOKU CENTER - Satoyama Wine
B-20	TOHOKU TOURISM PROMOTION ORGANIZATION
	- Akita Prefecture - Aomori Prefecture - Fukushima Prefecture - IWATE PREFECTURAL GOVERNMENT - yamagata prefecture
B-21	Niigata Prefectural Tourism Association
	Shonai Visitors Association
B-22	FUKUSHIMA
B-23	Ajigasawa Shirakami Green Tourism association
B-24	Travel Etiquette in the Age of New Normal
C	Domestic / Related Companions & Organizations
C-02	JAPAN SPORTS AGENCY
C-08	VOX JAPAN
C-09	Kyoritsu Resort Hotels & Hotel dormy inn
C-10	Hyakusenrenma.Inc. (STAY JAPAN)
C-12	Brangista Media.Inc
C-15	GoodFellows JTB Corp.
C-23	VIP GLOBAL CO.,LTD.
C-25	Shachihata Inc,
C-26	point
C-28	NIPPON TRAVEL AGENCY Co.,Ltd.
C-31	HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL CO.,LTD.
C-32	KNT-CT Holdings Co., Ltd
C-33	TOBU TOP TOURS CO.,LTD
C-35	MEITETSU WORLD TRAVEL,INC.
C-36	Japan Adventure Tourism Organization
C-37	Visitor Use Promotion Office, National Park Division, Nature Conservation Bureau, Ministry of the Environment, Japan
	- Amamigunto National Park - Aso Geo Park Ecotourism Promotion Council - Gero City Ecotourism Promotion Council - Iriomote-Ishigaki National Park - Ishizuchi Ecotourism Promotion Council - Keramashoto National Park - Kushima Ecotourism Promotion Council - KYOTO MIYAMA Ecotourism Promotion Council - Toba City Ecotourism Promotion Council - Yambaru National Park
C-38	TOKYU HOTELS
C-39	Japan Alliance of Responsible Travel Agencies
C-40	MICWARE CO.,LTD.
OU	Okinawa Exhibit
OU-01	JTB
OU-02	OKINAWA TOURIST SERVICE INC.
OU-04	OKINAWA RENT-A-CAR ASSOCIATION
OU-05	Okinawa Convention & Visitors Bureau
	- Okinawa Convention & Visitors Bureau (Domestic Marketing Section) - Okinawa Convention & Visitors Bureau (Overseas Marketing Section) - Okinawa Convention & Visitors Bureau (The Former Japanese Navy Underground Headquarters / Busena Marine Park)
OU-06	Kokoro.Corp
OU-07	GRANDVIRIO RESORT ISHIGAKIJIMA

OU-08	OKINAWA HINODE RESORT & HOT SPRING HOTEL
	OKINAWA HINODE HOTEL
OU-09	International Travel Service Inc.
OU-14	OKINAWA MICE SERVICE
OU-15	T.B.S Group · Okinawa Prime Color Inc.
OU-24	OKINAWA INTERNATIONAL MOVIE FESTIVAL / YAMBARU ART FESTIVAL
	YAMBARU ART FESTIVEL
OU-25	Sharee
OU-26	Resort Baby Sitter Service WORLD KIDS
OU-28	Japan Shopping Tourism Organization
OU-29	Trim Life International Co.,Ltd.
OU-30	Total Wellness Project Okinawa Association
OC	Okinawa Exhibit
OC-01	Kariyushi CO.,Ltd.
OC-02	HOTEL OKINAWA WITH SANRIO CHARACTERS
OC-03	KPG HOTEL & RESORT
OC-04	Okinawa City Tourism & Product Association
OC-05	Jumbo Tours
OC-06	Okinawa Churashima Tourist Facilities Association
OC-07	Okinawa Churashima Foundation
OC-08	ALL NIPPON AIRWAYS CO.,LTD.
OC-08	ANA Sales Co., Ltd
OC-09	MOANA RENTAL CAR MIYAKO ISLAND
OC-10	miyakojiMANIA ~ Miyakojima Inbound Tourism Private Council
OC-12	SHIROUNOUEN Inc.
OC-13	JAL Group
	- Japan Airlines Co., Ltd - Japan Transocean Air Co., Ltd. - JALPAK Co.,Ltd - JAL JTA SALES Co.,Ltd
OC-14	Okinawa Distillers Association
OC-14	A Round Trip Experience of "Okinawa, Japan Heritage" by Utilizing Public Bus Service
OC-15	Southeast Botanical Gardens
OC-16	OKINAWA ARENA
OC-17	Ryukyu Hotel & Resort Nashiro Beach
OC-18	HOTEL COLLECTIVE
OC-19	naha airport extension maintenance promotion league
OC-20	OKINAWA Federation of Chamber of Commerce
OC-23	Yaeyama Island(Ishigaki City, Taketomi Town, Yonaguni Town)
OC-24	Beach Hotel Sunshine Ishigaki island
OC-25	YUBUJIMA COMPANY LIMITED
OC-26	YAMANAKO TOURS
OC-27	Taketomijima Regional Foundation
OC-29	Regional business strengthening support project
	- Kitadaito Village, Okinawa Japan - Nago City, Okinawa Japan - Onna Village, Okinawa Japan - Yonabaru town, Okinawa Japan
OC-30	Kin Town Tourism Association
OC-31	Kitanakagusuku Tourism Association
OC-32	Ginowan City Society of Commerce and Industry
OC-33	OKINAWA Green Tourism Network
OC-34	ITOMAN CITY
OC-34	Iroman City Tourism Association
OC-35	NAHA CITY
	Naha City Tourist Association
OC-36	NAHA AIRPORT BUILDING CO.,LTD.
OC-37	Seasir Co., Ltd.
OC-38	Zamami Village
OC-39	Tokashiki Village
OC-40	Nanjo City Tourism Association
	East Home Town okinawa Inc.
OC-41	CHATAN TOWN
OC-42	Kumejima Town
OC-43	Ie Island Tourism Association
OC-44	Okinawa Prefecture Remote Island Tourism Exchange Promotion Project Shima acchi
	- Iriomote Island (Shima acchi) - Kuro Island (Shima acchi)

	South Borodino Island (Shima acchi)
OC-45	Kunigami Village
OC-46	OKINAWA DokiDoki Tours
OC-47	ogimiTourism Association
OC-48	Traditional food culture in Okinawa ~ Okinawa Food Culture Preservation/Dissemination/Succession Business
OC-49	URUMA City
OC-50	Urasoe City
OC-51	National Theatre Okinawa
OC-52	The Birthplace of Karate, OKINAWA
OC-53	Tomigusuku City
OC-54	ias OKINAWA TOYOSAKI / OKINAWA OUTLET MALL ASHIBINAA
	Okinawa Outlet Mall ASHIBINAA
OC-56	The beautiful nature Yambaru tourism
OC-57	Okinawa Convention & Visitors Bureau
OC-58	Safe & Secure MICE -Coronavirus Risk Management by IT
Online	Online Business Meetings
Online 1	Guam Visitors Bureau
Online 2	Guam Visitors Bureau
Online 3	The Tsubaki Tower
Online 4	The Westin Resort Guam
Online 5	HYATT REGENCY GUAM
Online 6	Pacific Island Holidays, LLC.
Online 7	Holiday Tours Micronesia (Guam), Inc.
Online 8	Hilton Guam Resort & Spa

Booth NO.	ResorTech2020 EXHIBITOR'S LIST
P-01	Gold Value Creation Corp,Inc. / United Corporation,Inc.
P-02	Kanucha Bay Resort Co.,Ltd
P-03	TOYOTA Connected Corporation
P-04	Okinawa Cross Head & Rozetta
P-05	THE BANK OF OKINAWA LTD.
G-01	NTT DOCOMO,INC.
G-02	NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
G-03	NTT Communications Corporation
G-04	RECRUIT LIFESTYLE OKINAWA CO., LTD.
G-05	ABeam Consulting Ltd.
G-06	The Okinawa Electric Power Co., Inc./The Okiden Global Systems CO.,Inc. /First Riding Technology Inc.
G-07	Okinawa General Bureau, Cabinet Office
G-08	Japan Accommodation Related Consortium
G-09	transcosmos inc
R-01	Knowledge Creation Technology Co., Ltd.
R-02	TRUSTYOU
R-03	STADIUM,inc
R-04	OTNet
R-05	FXC Inc.
R-06	OCC Corporation.
R-07	Trust Communication Inc.
R-08	Daiko Holdings Group,Inc.
R-09	Ashibi Company Co.,Ltd.
R-10	Co.,Ltd.NUS
R-11	EcoTourLab
R-12	fieltrust
R-13	i-move Co., Ltd./OKINAWA TOURIST SERVICE INC./DENSO TEN Limited./OTS Service Management Research & Consulting,Inc.
R-14	Ark incorporation CO.,LTD
R-15	OTTOP (Okinawa Transit and Tourism OpenData Platform)
R-16	L.I.T Inc.
R-17	POPCHAT,Inc
R-18	New Normal
R-19	okicom CO.,LTD
R-20	NPO Okinawa Geographic Information System Conference
R-21	Advantech Japan Co., Ltd.
R-22	Pacific Highway Japan Ltd.
R-23	ARC. Co., Ltd.
R-24	Okinawa Prefectural Government
R-25	IT Innovation and Strategy Center Okinawa (ISCO)